

避難所開設（運営）手順書



令和6年3月

赤磐市

目 次

避難所開設（設営）（避難者の受け入れ準備～避難者の受け入れまで）	4
1 事前準備	5
1-1 住民への広報	5
1-2 避難所用衛生用品の調達	5
1-3 避難所用の備蓄資機材の調達	6
1-4 避難所の検討	6
開設避難所	7
〈避難所開設から撤収までの流れ〉	8
これから避難所の開設を始めます	9
開設準備	10
1-4 開設手順	10
1-5 開設時の役割・人数の決定	11
1-6 運営職員（スタッフの感染予防）	12
1-7 避難所の区割り（開設前に行うこと）	13
避難所の区割り（資機材の設置）	14
避難エリア設置概念図	15
1-7-1 避難所の区割り 例（体育館）	16
1-7-2 避難所の区割り 例（運動場）	17
1-7-3 避難所の区割り 例（校舎）	18
1-7-4 体育館 避難所区割り・避難テント等配置イメージ図	19
1-8 受付の設置（避難者受付）	20
受付の配置例	21
避難所開設における避難者受け入れ対応	22
避難所開設における避難者受け入れ対応（車中避難者）	23
避難所開設における補助犬・ペット受け入れ対応	24
2 避難者の受け入れ組織	25
2-1 避難者の受け入れ	26
エリア別の受け入れ対応	27
2-1-1 避難者の受け入れ：受付開始	28
2-1-2 避難者の受け入れ：記載台	29
記入例	
健康チェックリスト 記入例	31
避難者健康チェックシート 記入例	32
資料 11 避難者受付簿 開設初日 記入例	33
資料 11 避難者受付簿 二日目 記入例	34
資料 12-1 避難者カード（避難所へ来た人） 記入例	35

資料 12-2 避難者カード（車両用）	記入例	36
資料 12-3 避難者カード（ペット）	記入例	37
資料 12-4 ペット表示	記入例	38
資料 13 避難者名簿	記入例	40
資料 13-1 避難者名簿（車中避難者用）	記入例	41
資料 14 避難所における要配慮者名簿	記入例	42
資料 15 照会用避難者名簿	記入例	43
資料 15-1 車中避難者登録用紙	記入例	44
資料 16 避難者傷病リスト	記入例	45
資料 17 避難車両一覧	記入例	46
資料 18 同行避難ペット一覧	記入例	47
資料 18-1 補助犬利用避難者一覧	記入例	48
資料 19 避難所外避難者物資配布希望受付一覧	記入例	49
2-1-3 居住区分案内		50
多様な避難者への居住区分エリアへの案内		51
居住区分案内：共通（誘導班）		54～65
避難所物資の配布（食料・物資班）		66
食料・物資の配給（避難所外避難者への配給）		67
避難者（被災者）への情報伝達		68
その他留意すべきこと		69
トイレの確保（保健衛生班）		70
災害対策本部との連絡（総務班）		71
3 避難所の運営		
【避難所の運営体制図】（例）		73
3-1 避難所の環境		74
4 撤収（避難所閉鎖）		77
資料		
健康チェックリスト他資料		79～105
		以上

避難所開設（設営）

（避難者の受け入れ準備～避難者の受け入れまで）

はじめに

この避難所開設運営手順書は、避難所開設・運営マニュアルに準拠し、避難所の開設（避難者の受け入れ）をスムーズに行うための手順や内容をまとめています。前回の本書は新型コロナウイルス感染症対策の避難所開設手順書として作成しましたが、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、これまでは「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」としていましたが、令和5年5月8日から「5類感染症」となり、「基本的な感染対策を求められない」「感染症法に基づく、新型コロナ陽性者及び濃厚接触者の外出自粛は求められなくなる。」などとなり、避難所においても特定の感染症対策は求められなくなりました。しかし、避難所を開設する場合には、感染症対策に万全を期することが重要となっています。密集した環境下での集団生活等によりノロウイルス等による感染性胃腸炎やインフルエンザ、新型コロナウイルスなどの呼吸器系感染が拡大するリスクが高まることが過去の大きな災害での避難所運営で報告されており、多数の避難者が体育館等で肩を寄せ合う避難所では感染症対策としてマスクの着用、手洗いを推奨し、アルコール消毒液を設置してください。

また、避難者の受け入れにおいて、健常な避難者との接触が好ましくない避難者は個別に対応できる部屋が必要であり、これに対応できる避難所は個別の部屋を多く持つ小学校・中学校、公共施設等が最適で、事前に管理者と避難所としての使用調整並びに避難所配置計画で避難区分図等を作成しておく必要があります。

避難所開設準備において、事前に作成した避難所配置計画の施設図面を用い、それに則して資機材を配置していきます。開設準備が終われば避難所開設を行います。避難者は多様で、健常者、要配慮者（妊婦、乳幼児、障害児・者、身体障害者、傷病者等）、ペット同行避難者等に対応をしてください。

以上のことより避難所の迅速及び円滑な開設は、施設管理者との事前の調整並びに避難所配置計画（避難所の区割り）の作成が必須となります。

なお、詳細な避難所開設、運営については「避難所開設・運営マニュアル」を参照してください。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

1 事前準備

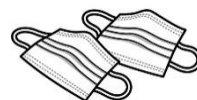
1-1 住民への広報

- ・住民が避難する前に避難の準備、避難先の検討をしておくことを事前に周知する。

- ・避難とは、難を避けること、つまり安全を確保することであり、まずは自宅の災害の危険性を確認し、自宅で居住が継続できる場合は自宅避難も検討
- ・避難所以外への避難を検討（親戚や友人の家、車中避難、ホテル等）
- ・感染対策としてマスクや石鹸(消毒液)、体温計、タオル、スリッパ、ビニール手袋、水、食糧、日用品等を用意して避難する
- ・当面の食べ物・飲料水や服薬している薬や体調管理のためのサプリメント等を用意
- ・自身・家族の感染症対策としてマスク・衛生用品等を準備し避難する

- ・避難所の感染症対策の周知

- ・避難警戒レベル情報を参考に早期避難を徹底するよう周知



1-2 避難所用の衛生用品の調達

衛生用品	目 的	調達すべき数量
液体せっけん（なければ固形石鹸）	流水での手洗い	数量を事前把握
アルコール消毒液	手指・物品の消毒	〃
次亜塩素酸ナトリウム消毒液（0.02%）	ドアノブ等の消毒	〃
次亜塩素酸ナトリウム消毒液（0.1%）	吐瀉物・便処理時消毒	〃
除菌シート	消毒	〃
消毒液を入れる容器（スプレーボトル）	消毒剤を持ち運ぶ	〃
電子体温計（非接触型体温計）	体温測定	〃
マスク	飛沫感染防止	〃
フェイスシールドもしくはゴーグル	飛沫感染防止	〃
ペーパータオル	ふき取り清掃、手拭き	〃
防護服、ガウン（ビニール製の）	飛沫感染防止	〃
使い捨てゴム手袋	感染防止	〃
足踏み式ゴミ箱	汚物感染防止	〃
ゴミ袋（ゴミ箱用）	汚物廃棄用	〃
その他	必要とされる衛生用品	〃

- ・マスクの着用は個人の判断ですが、着用することが望ましい。
- ・使い捨て手袋は一連の作業が終わるごとや、作業場所が変わるときも交換する。
- ・フェイスガードは咳症状のある人との接触時にゴム手袋・マスクとセットで使用。
- ・マスク、ゴム手袋、ガウンは脱ぐときに汚染されるので外側は触らない。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

1-3 避難所用の備蓄資機材の調達（赤磐市の主な備蓄品）

備蓄資機材	目 的	調達すべき数量
段ボールベッド		避難所規模で判断
ロール畳（マット）（約0.9m×10m）		//
間仕切り		//
養生テープ	区割り用	//
避難テント（約2m×約2m）		//
折り畳み避難マット	避難テント用	//
折り畳み避難ベッド		//
寝袋		//
毛布		//
ポータブルトイレ	セパレート型	//
自動ラップ式トイレ	排便自動封入	//
簡易トイレ		//
トイレ用手すり	介護用	//
パーソナルテント	着替え、トイレ用	//
パーティション	簡易間仕切り	//
ビニールシート	簡易間仕切り	//
サーキュレーターもしくは扇風機	強制換気	//
ブルーシート（1.8m×1.8m）	間仕切り内下敷き用	//
ブルーシート（3.6m×5.4m）	避難所内玄関下敷き用	//
その他		

1-4 避難所の検討

感染症対策を考慮すること。避難者の中に風邪に似た症状のある避難者、一般避難者との接触が好ましくない避難者（他の感染症と診断された者）がいた場合、収容できる施設として、個室（教室）及び複数の便所を持った学校施設、社会教育施設とすることで対応可能であり、活用できる施設として次頁に赤磐市の施設一覧を掲載します。

新型コロナウイルス感染症は第5類となりましたが、避難所での集団感染を避けるため、手洗い、マスク着用推奨、アルコール消毒は引き続き行うようにお願いします。

注意：受付での混乱をなくすために、住民へ避難所開設においての事前告知として、避難者に避難所の受付で体調不良者は申し出てもらい、該当者は検温・健康チェックを行い居住区分を決めることを伝える必要があります。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

開設避難所

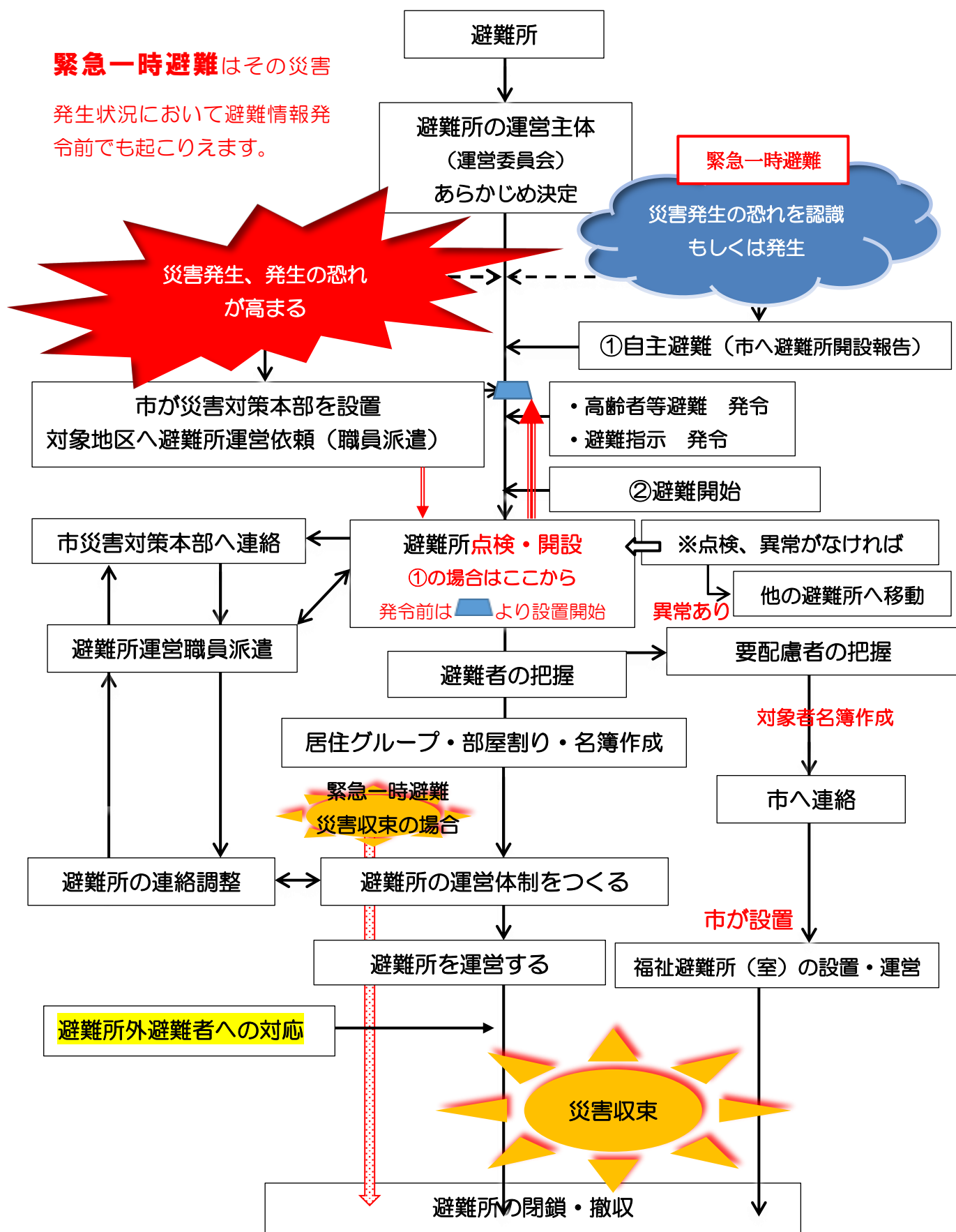
番号	地域	施設名	住所	収容人数(人)	備考
①	山陽地域	赤磐市山陽ふれあい公園	正崎1368番地	1,090	公称人数
②	山陽地域	高陽中学校	上市51番地	793	公称人数
③	山陽地域	山陽西小学校	山陽3丁目1番	500	公称人数
④	山陽地域	高月公民館	穂崎848番地1	84	公称人数
⑤	山陽地域	西山公民館	西中220-1番地	204	公称人数
⑥	赤坂地域	石相小学校	町苅田64番地	270	公称人数
⑦	赤坂地域	軽部小学校	今井100番地	200	公称人数
⑧	赤坂地域	笹岡小学校	惣分7番地	168	公称人数
⑨	赤坂地域	笹岡公民館	坂辺9	99	公称人数
⑩	熊山地域	熊山武道館	沢原356番地1	540	公称人数
⑪	熊山地域	磐梨中学校	沢原149番地	400	公称人数
⑫	熊山地域	磐梨小学校	沢原55番地1	396	公称人数
⑬	熊山地域	桜が丘小学校	桜が丘東6丁目6番地693	402	公称人数
⑭	熊山地域	桜が丘いきいき交流センター	桜が丘東5丁目5番地391	362	公称人数
⑮	吉井地域	吉井会館	周匝136番地1	288	公称人数
⑯	吉井地域	吉井中学校	周匝161番地	390	公称人数
⑰	吉井地域	城南小学校	黒本129番地	390	公称人数
⑱	吉井地域	仁美小学校	仁堀中888番地	354	公称人数
⑲	吉井地域	吉井B&G海洋センター	草生1番地	612	公称人数

- ・市内全域で大きな災害が発生した場合、避難所が不足する事態に備え他の公共施設も開放を検討する必要があります。
- ・車中避難は推奨しませんが増えることが想定されるため、車中避難に備えた専用駐車場の確保を検討しておきましょう。車中避難の場合でも受付は完了させてください。その場合、車中避難者についても一般避難者と同じルールを守ってもらうように伝えてください。

※あらかじめ、駐車場で車中避難の場所を指定しておくと混乱がありません。

▲避難者自ら新型コロナウイルス感染症、呼吸器感染症（インフルエンザ等）、消化器感染症（ノロウイルス等）の感染の可能性もしくは症状が疑わしいと申告があった場合は、専用の避難室へ受け入れを行い、市災害対策本部へ連絡を行い指示に従ってください。

<避難所開設から撤収までの流れ>



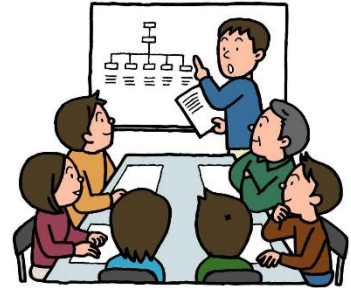
これから避難所の開設をはじめます。

避難所の開設に必要なことは、このマニュアルに書いてあります。
落ち着いて、ご自身の安全を第一に行動してください。

○すぐにやること

- 当面の活動を指示するリーダーを決めてください。

- 今、避難所に集まっている人の中からリーダーを決めてください。
- 事前に話し合っているリーダーの候補者が来れば、交代することもできます。



- 避難者の受け入れ準備ができるまでは、避難者は出来るだけ屋外もしくは施設内通路等で待機してもらってください（避難者に準備の手伝いを依頼することも検討）。

準備が出来次第、受け入れを行いましょう（状況により施設内に收容し、開設準備完了後、受付をしてください：状況判断が大切になります）。

※避難者に適切な説明を行うことが重要です。

施設の安全確認が出来ない場合、避難者に危険が及ぶ可能性や收容に混乱が生じることがありますので、**基本的には受け入れ準備ができるまでは室外で待機してもらってください。**

○避難されてきた皆さんへ

- 避難所の運営には、皆さん一人ひとりの協力が必要です。
- リーダーも避難者の1人で、専門家ではありません。皆さんで助け合って必要な作業を分担し、避難所の開設を進めてください。

- 避難生活を円滑に行うために、一人ひとりが次のことを心がけてください。

- ①譲り合いの気持ち
- ②率先して避難所の運営に携わる気持ち＝自分の役割を果たす気持ち
- ③避難所のルールを作る
- ④ルールを作ったらみんなで守る
- ⑤避難所外避難者へも温かい思いやりを持ちましょう。

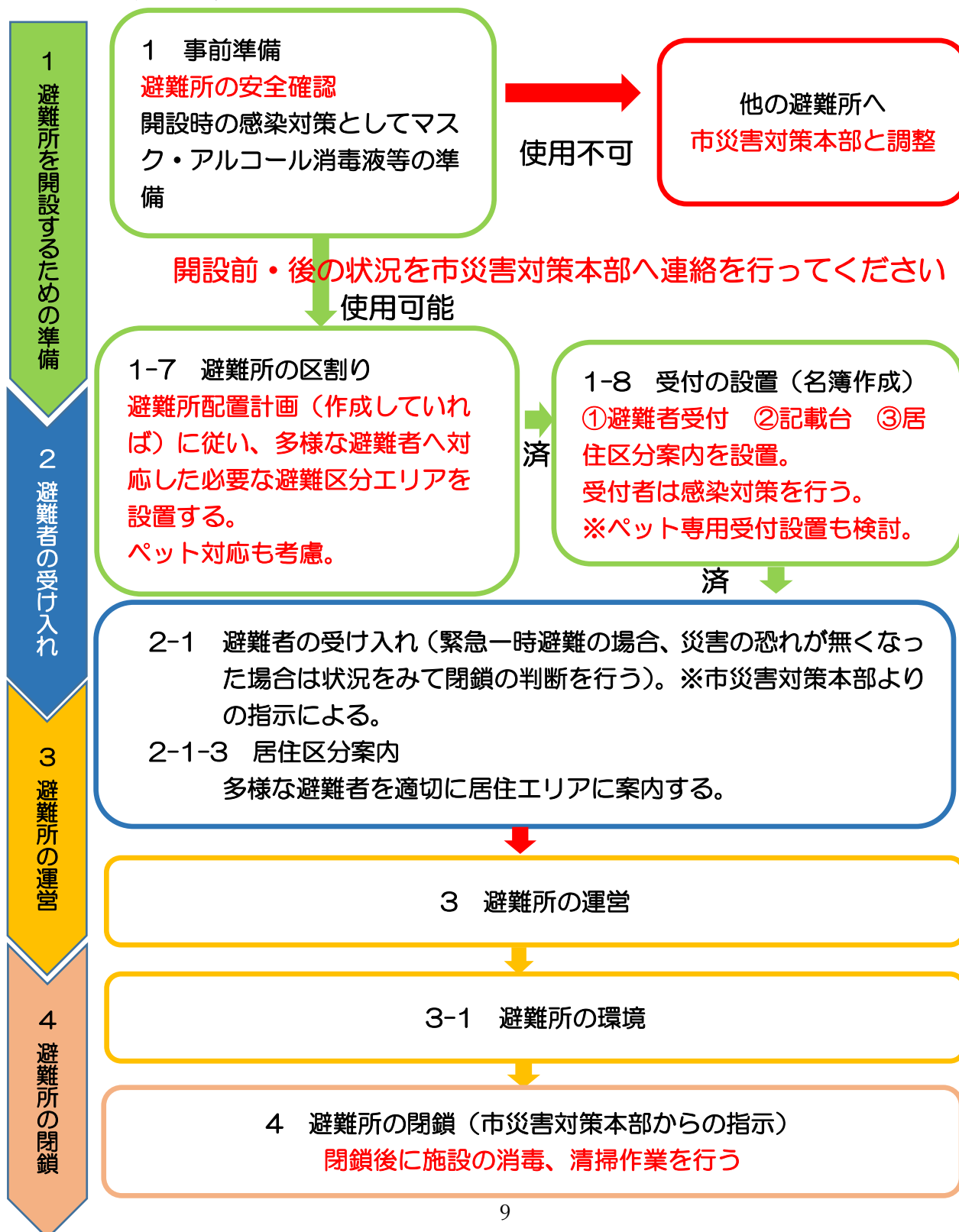


事前準備	開設準備	開設	運営	撤収
------	------	----	----	----

開設準備

1-4 開設手順

避難所開設に伴う主な手順は以下のとおりです。避難者の動線をイメージし、その施設に合う受付の配置をしてください。感染症が疑われる避難者が確認された場合、市災害対策本部へ連絡をお願いします。



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

1-5 開設時の役割・人数の決定（避難所開設・運営マニュアルより）

避難所運営に関して下表のような避難所の開設・運営に係る活動班をあらかじめ決めておくと、混乱なく避難所対応が出来ます。

避難者を災害から守り、収容することを第一目的としてください。

【活動班】（例）※活動班の人数は目安です。施設規模等に応じて増減をしてください

必要となる活動		活動班	人数（目安）
(1) 運営委員会の事務局 (2) 避難所運営の記録作成 (3) 地域との連携 (4) 災害対策本部との連絡調整	(5) 安否確認等問い合わせの対応 (6) マスコミへの対応 (7) 各班の業務の調整等	総務班	4～5名
(1) 名簿の作成管理 (2) 名簿の更新（退所者の管理）	(3) 名簿の更新 (4) 情報の提供	名簿班	2～3名
(1) 新規入所者の誘導（名簿班と連携）	(2) ボランティア受入管理	誘導班	4～5名
(1) 医療救護に係る対応	(2) 要配慮者の支援	救護班	2～3名
(1) 生活水の確保 (2) トイレ (3) ごみの管理	(4) ペット避難 (5) ペット飼養場所 (6) その他衛生活動	保健衛生班	4～5名
(1) 避難所の安全確認	(2) 防犯対策	施設管理班	3～4名
(1) 備蓄物資の配布 (2) 食料物資等の調達 (3) 食料物資の受け入れ管理	(4) 食料物資の配布 (5) 炊き出しの実施	食料・物資班	4～5名

避難所の開設・避難者受付に関しては名簿班・誘導班が中心となり、他の班の応援により避難者受付係・記載台（記入受付）・居住区分案内係を結成し行いましょう。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

1-6 運営職員（スタッフの感染予防）

あらかじめスタッフにはレクチャーが必要です

- ①、②、③居住エリアで活動する人、トイレや嘔吐物など汚れた場所で掃除をする人

⇒感染予防着（マスク・使い捨てゴム手袋・フェイスシールド）を着用

- 受付、一般避難所内で活動する人

⇒マスクの着用

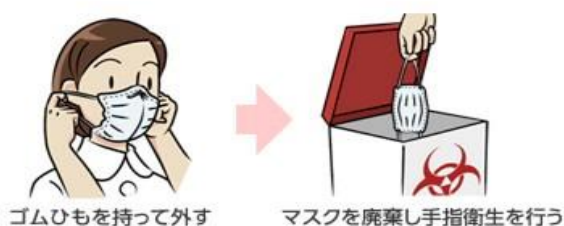
※感染予防着等を脱ぐ時は、汚れやウイルスのついたと思われる外側を触らないように注意してください。

個人防護具の取り扱い（マスク・使い捨てゴム手袋）

着用方法

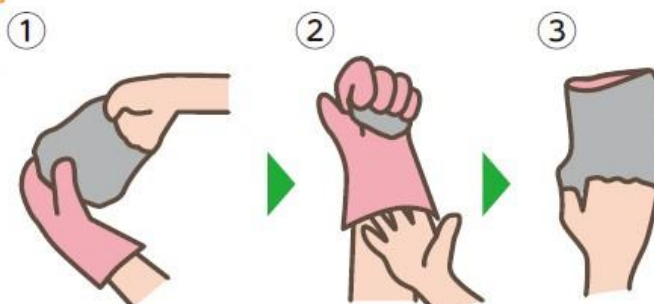


脱ぐ方法



使い捨て手袋の脱ぎ方

※着脱の前後に手洗い・アルコール消毒をしましょう。



サラヤ株式会社 HP より

事前準備	開設準備	開設	運営	撤収
------	------	----	----	----

1-7 避難所の区割り（開設前に行うこと）

役割	通路や症状別の避難エリア等を指定し、スムーズな受け入れが出来るよう、避難所の区割り（資機材の寸法として縦横2m）を養生テープ等で行います。地区福祉避難所、その他エリアも区割り作成します。
----	---

使うもの	☐ 養生テープ（配置計画図があればそれに沿って区割りを作成） ☐ ブルーシート（必要枚数）、フロアシート（体育館）
------	--

注意点	☐ 避難所の安全が確認出来たら感染症対策を十分に行い自身の安全を最優先に行ってください（避難所配置計画 参照）。 ☐ 通路の幅は約2mをとりましょう。 ☐ これ以外に障害者（補助犬同伴は別部屋）、女性・乳幼児その他。
-----	---

チェック



チェック



チェック



チェック



避難所の安全点検が完了した後、避難所の区割りの作業を開始します（避難所の区割り 例）。早期に避難者の受け入れを開始できるよう協力者を確保して作業を手伝ってもらいます。

① ※避難所運営本部は管理室等の利用もしくは避難エリア内に設ける。

特に感染症の体調不良の避難者はクラスターとなる可能性があるため、個別対応ができるように部屋の確保が重要となります。あらかじめ個別支援の部屋について施設管理者との協議を行っておいてください。

② 体育館では通常ステージ下にフロアシートや机・椅子があるのでそれを取り出し使用します（平時より事前に確認しておくこと）。

③ 事前に検討した配置計画図に基づき、ブルーシート・養生テープ等を用いて区割りを行います。おおよその距離を測りながら行ってください（※地区福祉避難所エリア、女性専用エリア等も忘れずに！）。

④ 居住スペースやその他のスペースの表示を行います（※地区福祉避難所エリアも忘れずに！）。

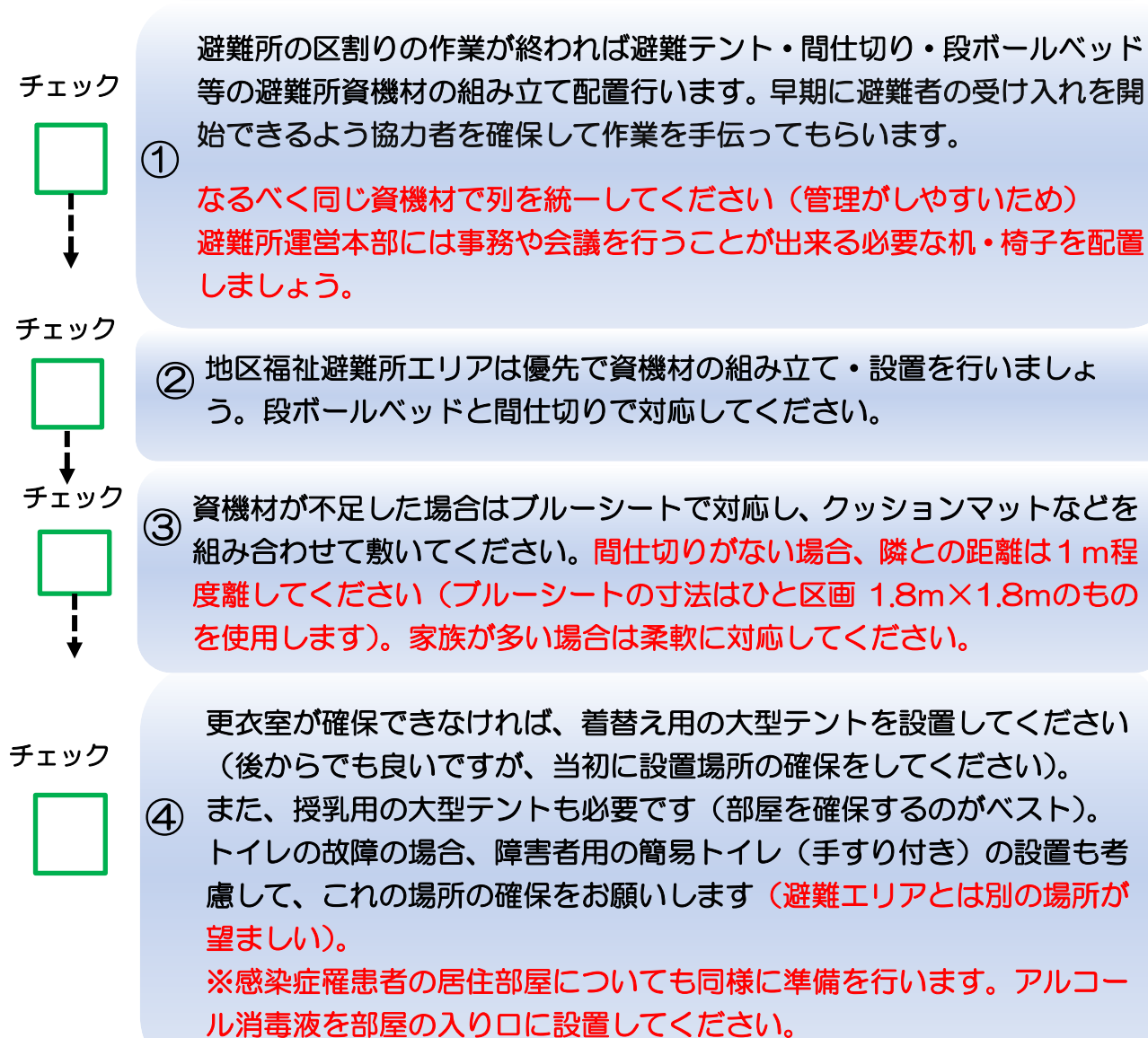
多様な避難者への個別の区割りの詳細は「避難所開設・運営マニュアル」参照してください。

※感染症罹患の避難者は隔離用の部屋の手配を行い、他の避難者と接触しない動線を設定してください。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

避難所の区割り（資機材の設置）

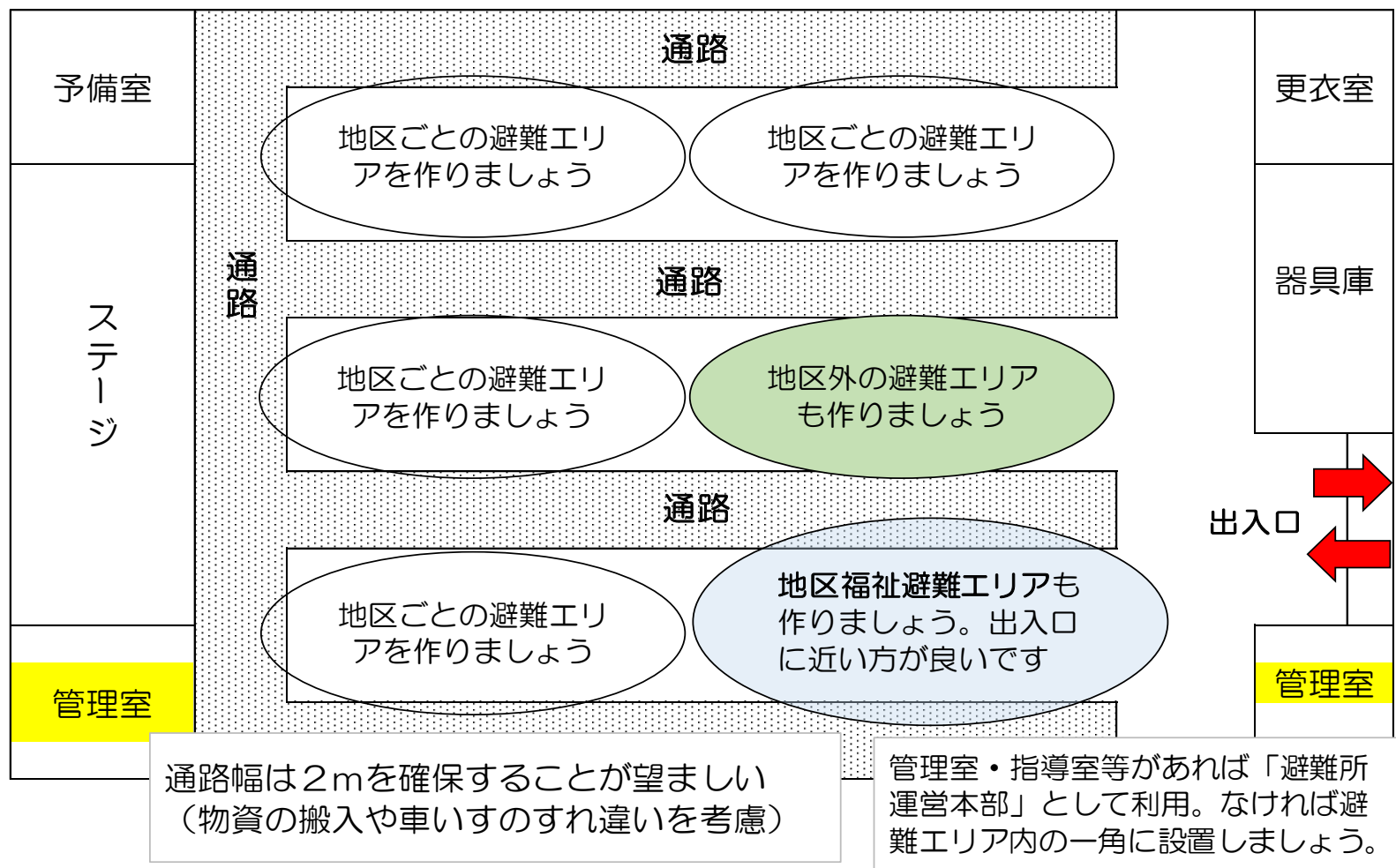
役 割	避難所の区割りの設定が出来たら避難テント、間仕切り、段ボールベッド等の避難所資機材の組み立て・設置を行います。
使うもの	☐ 避難テント、間仕切り、段ボールベッド、折り畳み避難ベッド等 ☐ アルコール消毒液、サーキュレーター等換気用機器 ☐ 簡易トイレ、トイレ用テント、着替え用テント、クッションマット等
注意点	☐ 地区福祉避難所エリアは優先で資機材の組み立て・設置を行います。 ☐ 各列は同じ資機材で統一すると管理がしやすくなります（1-7-4 避難所区割り参照）。



事前準備	開設準備	開設	運営	撤収
------	------	----	----	----

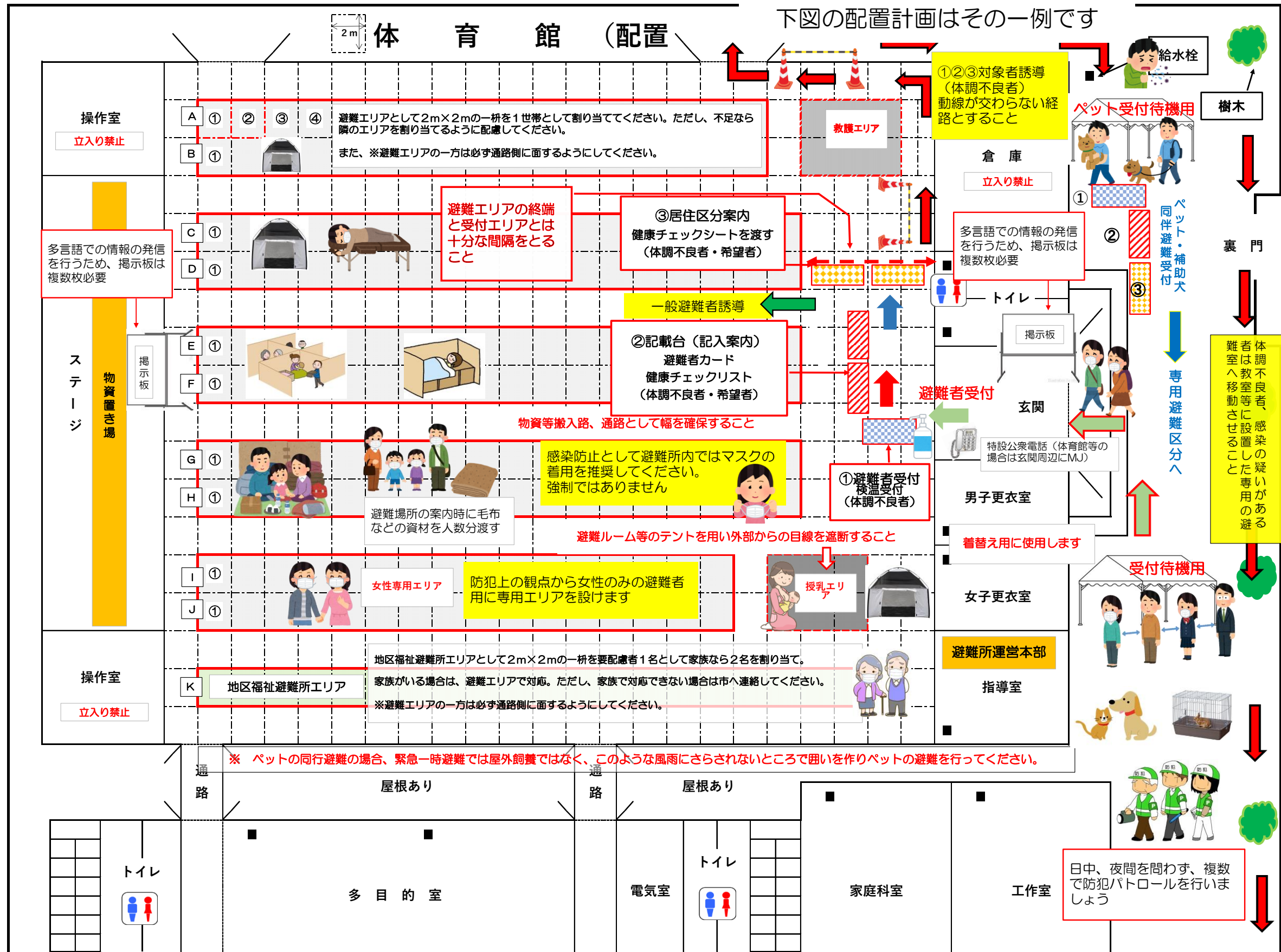
避難エリア設置概念図

避難エリアは顔見知りの多い、地区ごとに設置したほうが避難者は落ち着きます



避難者受付は基本的に施設外ですが、施設の形状や天候に応じて柔軟に設置してください。

1-7-1 避難所の区割り 例（体育館）

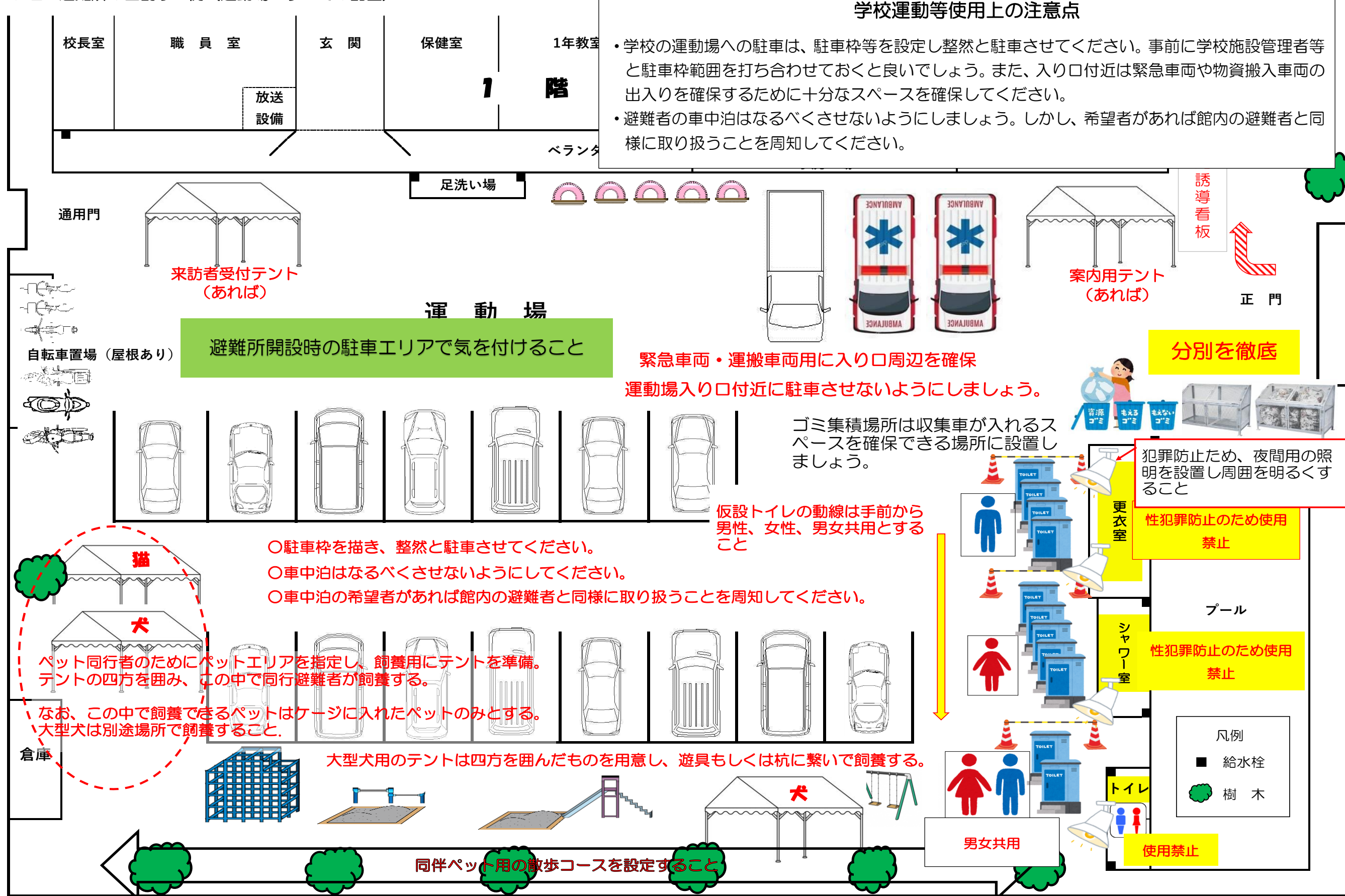


体育館等使用時の注意点

市内の学校施設の体育館には基本的に冷暖房設備は設置していません。真夏・真冬に大きな災害が発生し、長期的な避難所の開設・運営が見込まれる時には避難者に肉体的・精神的に負担をかけるものです。こういった場合には、市災害対策本部へ積極的に冷暖房器具・空調設備の導入を要望してください。また、対象となる要配慮者が存在した場合、福祉避難エリアを設置し見守りが必要となります。避難者の中でインフルエンザ・ノロウイルス等の罹患者がいたら集団感染予防のため隔離が必要です。学校管理者等関係者と協議のうえ必要な教室等を適切に使用してください。※性犯罪の防止のため、女性専用の避難エリアを設けてください。

事前準備	開設準備	開設	運営	撤収
------	------	----	----	----

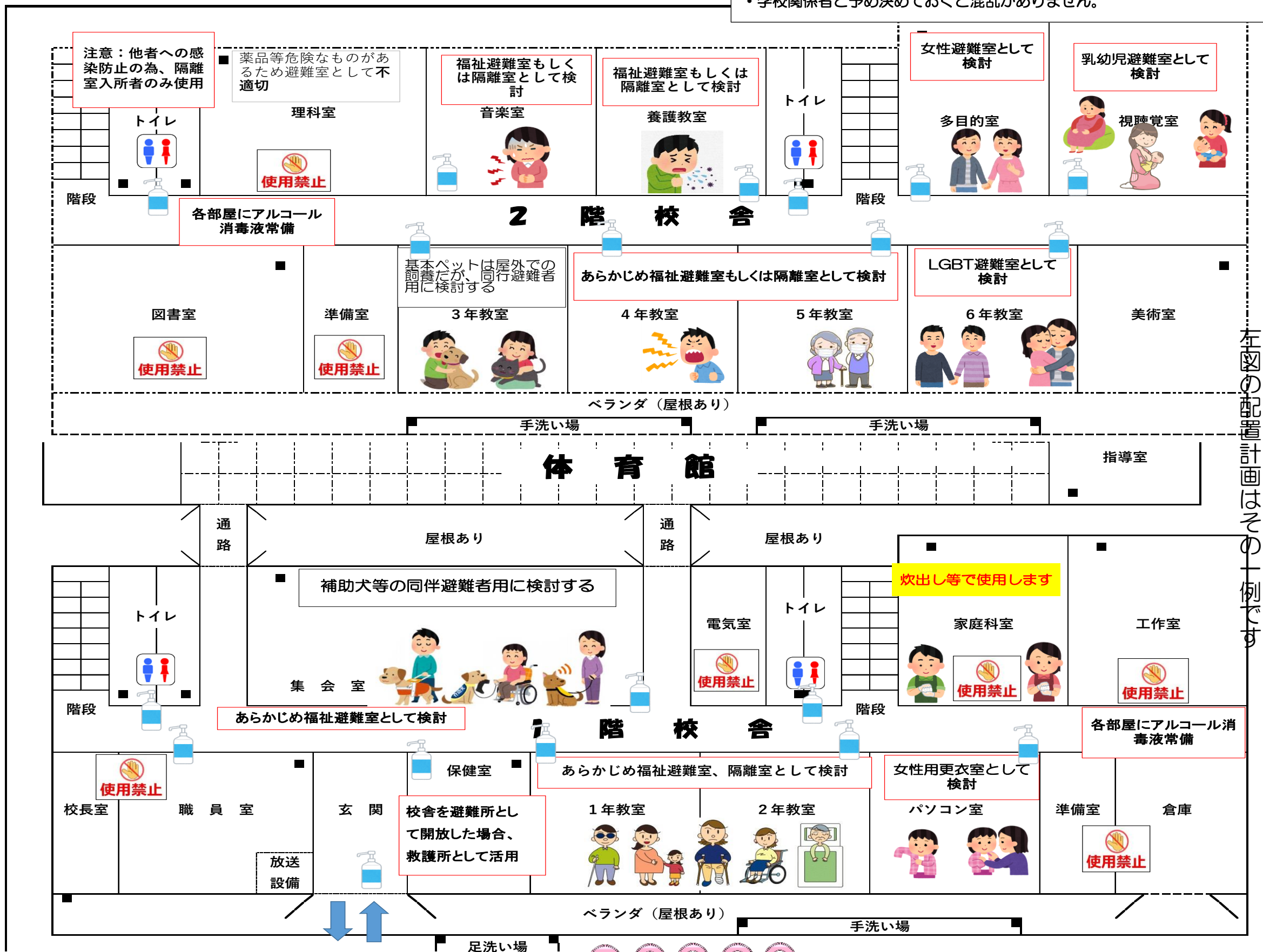
1-7-2 避難所の区割り 例（運動場：すべての配置）



左図の配置計画はその一例です

1-7-3 避難所の区割り 例（校舎）

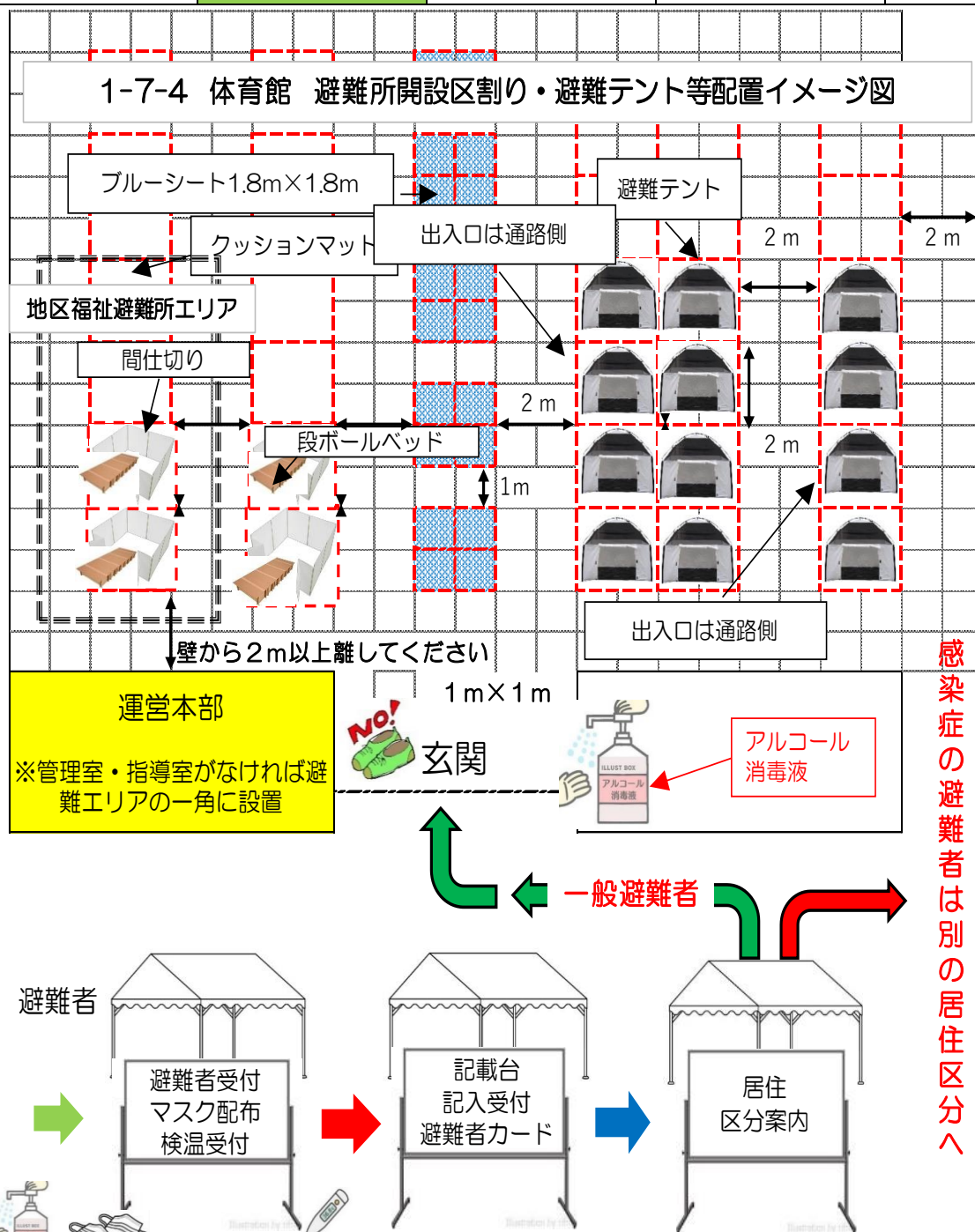
- ・避難者は多岐にわたります。想定される避難者の部屋を決めましょう。
- ・また事前に立入り禁止の表示をしましょう。
- ・学校関係者と予め決めておくことと混乱がありません。



教室等使用時の注意点

校舎内の各教室を避難室として使用する場合は、学校管理者等関係者と協議のうえ必要な教室を適切に使用してください。理科室・工作室・家庭科室等の特別教室は避難室としては適切ではないので使用しないようにしましょう。左の配置計画はあくまでも一例です。体育館での避難に耐えられない要配慮者（介護が必要な高齢者、妊婦・妊産婦、身体障害者、発達障害者、知的障害者等）のために福祉避難室として設置することも考慮してください。教室等の利用については、あらかじめ検討しておくことと混乱がありません。

事前準備	開設準備	開設	運営	撤収
------	------	----	----	----



・補助犬・ペット同行避難者用の受付も設置してください。
 なお、補助犬・ペットは避難所での同伴避難は出来ません。
 ・補助犬は同伴避難用の別の専用部屋を施設内の1階に確保してください。
 ・ペットはケージ等に入れるかもしくはリードに繋いでおく飼養場所を決めましょう。

事前準備	開設準備	開設	運営	撤収
------	------	----	----	----

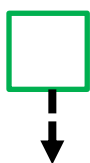
1-8 受付の設置（避難者受付）

役 割	受付を設置します（※屋内か屋外か前もって決めておくことが大切です） 受付の配置例参照（受付時の飛沫感染対策を行いましょう。担当者はマスク着用推奨）
-----	--

使うもの	☐ テント×4～6 張（屋外なら）、机×4～10 台、椅子×8～20 脚 ☐ 避難者受付セット（避難者受付簿、避難者カード 他、筆記用具、健康チェックリスト、健康チェックシート） ☐ アルコール消毒液、電子体温計、マスク（配布用を含め）、除菌シート等
------	--

注意点	☐ 避難者が必ず受付を通るように受付を3種類設置します。 ☐ 居住区画と居住区画の間の通路の間隔は2mを保持するようにしてください。 ☐ 必ず避難者受付簿（資料 11）及び避難者カードを記入してもらってください（資料 12-1・2・3・4 体温は任意です）、車中避難登録用紙。 ☐ 体調不良の避難者には、検温を行い健康チェックリストへの記入を依頼
-----	--

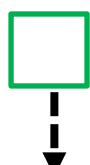
チェック



①

- ・避難所の安全確認が終わり、居住区分設定・資機材設置が完了もしくは、同時進行で受付の準備を開始します。
- ・受付設置前に避難者の受け入れを行うと、避難者受付と居住区分の案内に混乱が生じるので**緊急時**（大雨等の場合は動線を区切り屋内へ避難者を受け入れることも想定してください）は状況により判断してください。
※この場合は受付のみ行い、居住区分は事後の対応も検討しましょう。

チェック



②

- ・施設屋内もしくは玄関前の軒下又は屋外にテントを張った中に机と椅子を並べます（**あらかじめ決めておく**と作業が早くなります）。
- ・**※受付は、その後の搬入作業の支障にならない場所に設置しましょう。**
- ・紙と筆記用具で受付の表示をします（**あらかじめ作成しておく**）。
- ・受付担当者は、マスク等で飛沫感染対策を行います。
- ・**マスクを着用していない避難者にはマスク着用を案内してください。**
- ・**受付にはアルコール消毒液の設置をすること。**

チェック



③

- ・配布する「避難者受付簿、避難者カード」（資料 11.12-1、2、3、4）等受付に必要な用紙を準備します。
- ・**※避難者受付簿には複数枚にあらかじめ通し番号を記入しておきましょう（記入例参照）。**

チェック



④

- ・避難者の受付を行い避難者受付から**記載台**へと順に誘導します。
- ・**※体調不良の申告者は体温を計測し健康チェックリストに体調を記入してもらいます。**

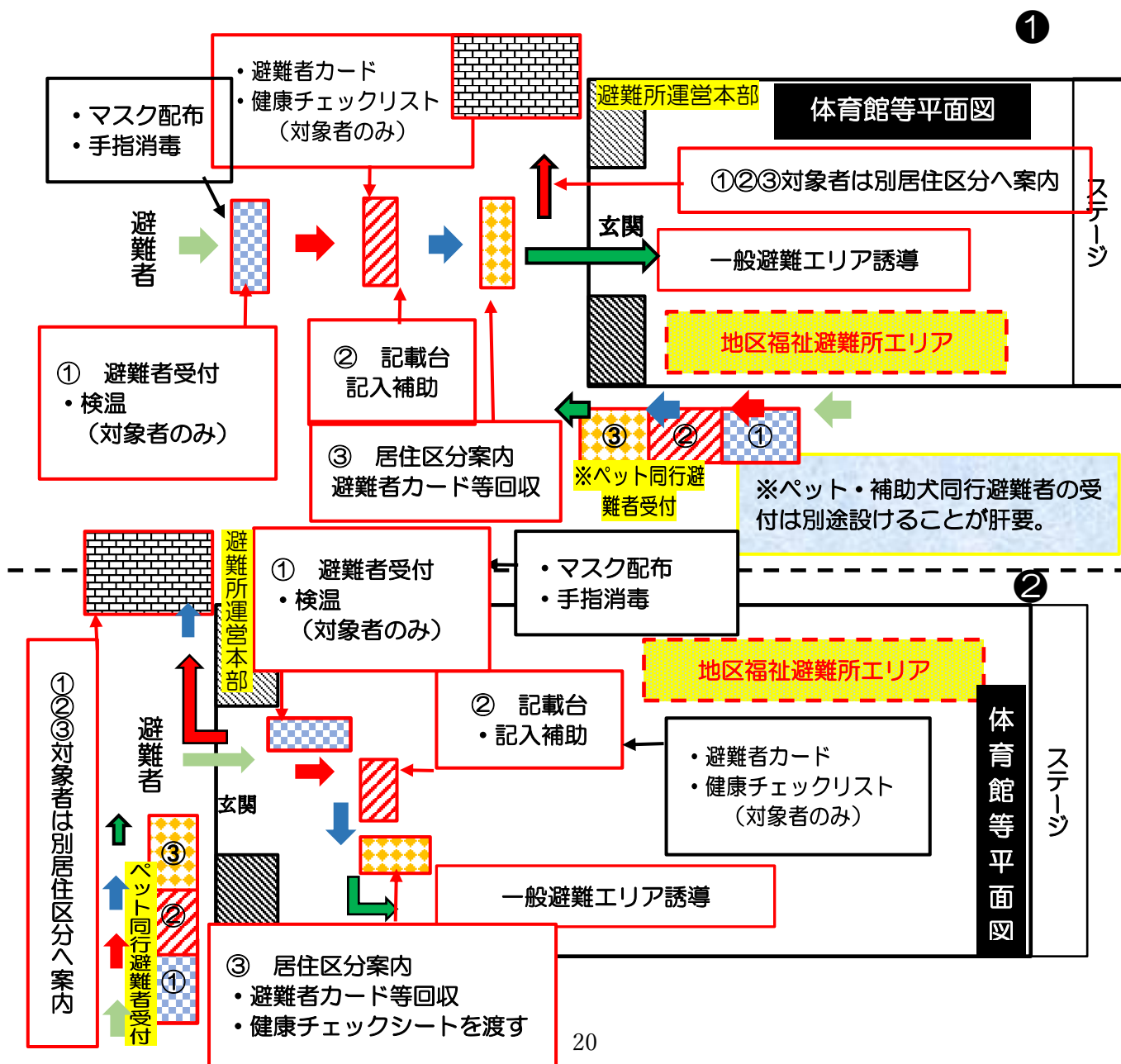
事前準備	開設準備	開設	運営	撤収
------	------	----	----	----

受付の配置例

避難者の受付配置は下記の2種類が想定されますが、施設の規模等により柔軟に対応してください。

※ペット同行避難者の受付を設ければ「①避難者受付」での混乱を防げるが、設けない場合は柔軟に対応してください。ペットは避難所内へ入れないことが肝要です。

- ①は屋外に受付用のテントが必要だが、施設内を広く使えるメリットがある反面、雨風が強い時、受付完了まで屋外で待機しなければならないという避難者に身体的苦痛と順番待ちのストレスを与える。
- ②は施設内に受付を設けるため風雨はしのげるが、収容人数は減る。すでに入所した者とこれから入所する者との動線が交わる可能性が高く、呼吸器感染症を罹患している避難者と一般避難者とが接触する可能性が高いため、机の配置及び動線に配慮する必要がある。

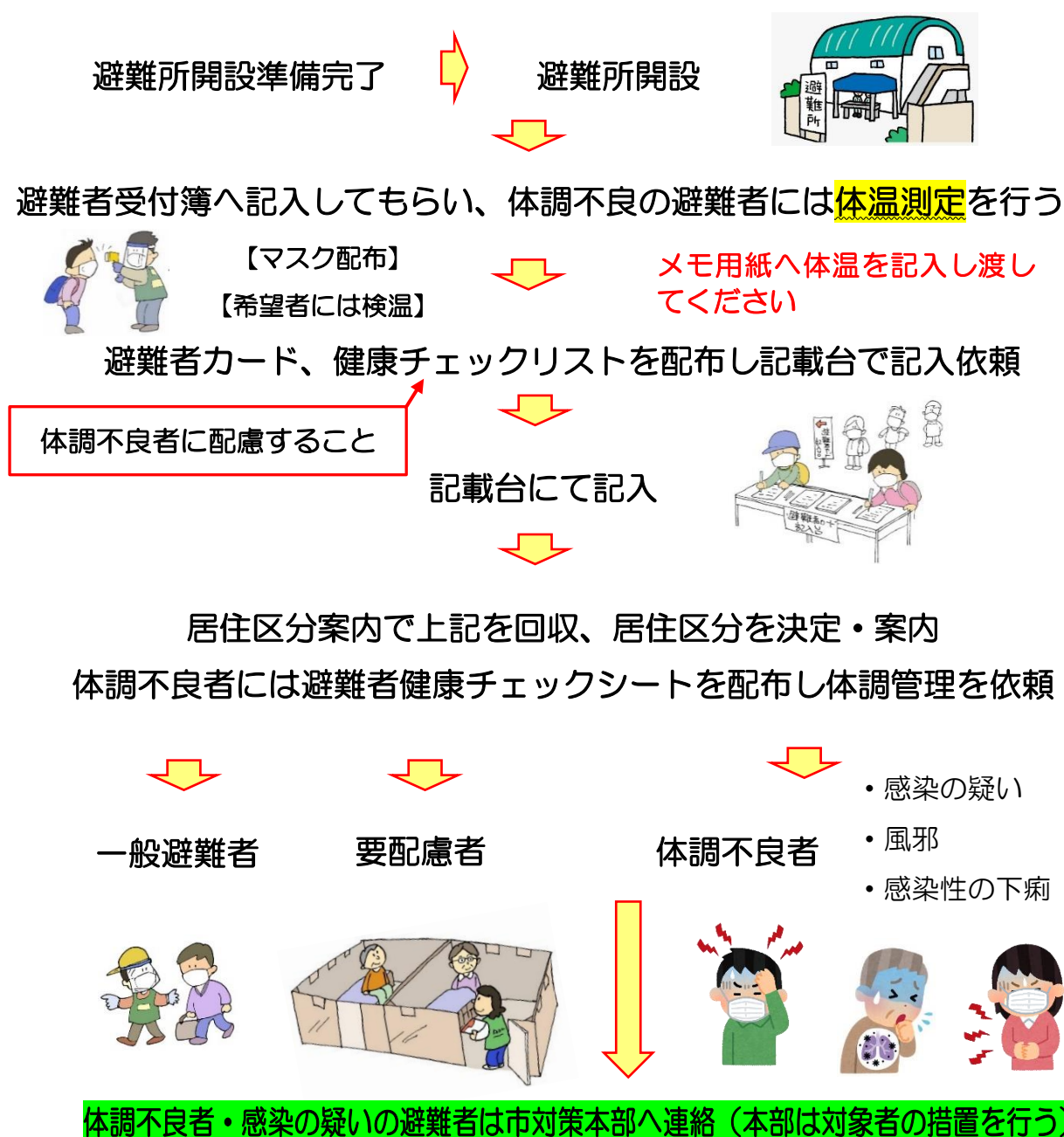


事前準備	開設準備	開設	運営	撤収
------	------	----	----	----

避難所開設における避難者受け入れ対応

避難所を開設した場合の避難者の受付手順のフローは以下のとおりです。避難者が殺到した場合、受付での混乱が予想されますが居住区分案内は適切に対応をお願いします。

※体調不良の避難者は見落とさない様にしてください。



回収した避難者カード類は名簿係へ

避難者カード類の情報を避難者名簿に転記、避難者受付簿と突合させて避難者数の把握をします。

事前準備	開設準備	開設	運営	撤収
------	------	----	----	----

避難所開設における避難者受け入れ対応（車中避難者）

避難しても人との接触を嫌い自家用車で車中避難を選択する避難者が多いのは事実であり、避難所ではこれに対応する必要があります。

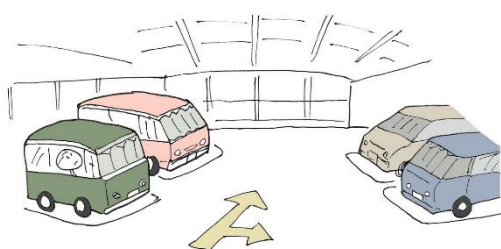
避難所開設準備完了



避難所開設



車中で避難のため、開設前に避難してくる可能性があります。駐車場の混乱を避けるため車中避難者用の駐車枠を検討する必要があります。



車中避難を認めたら避難者に車中避難をすることを確認してください



車中避難者登録用紙へ記入してもらい、避難者の体温測定を行う



車中避難者への周知

避難所の情報（食料等の配布等）については、避難所内の掲示板を自身で確認すること。また、避難所を退去する時は受付へ申し出るように伝えること。



車中避難者登録用紙を回収し、記載された事項を避難者受付簿（車中避難者用に別作成してください）に転記してください。

※車中避難であっても体調不良の避難者は見落とさない様にしてください。

エコノミークラス症候群予防について周知

長時間同じ姿勢を取っていると、肺塞栓症になる可能性があります。命に係わることなので水分をしっかりと取り適度な運動をするように伝えましょう。



水分を摂る

22



血流促進の運動



休む時は足を上げて

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

避難所開設における補助犬・ペット受け入れ対応

災害時には飼い主とともに同行避難する動物はペットや、盲導犬、聴導犬、介助犬などの補助犬（身体障害者補助犬法に基づく）に大きく2つに分類されます。補助犬は同伴避難可能であり、ペットに関しても専用の避難場所を提供する必要があります（人とペットの災害対策ガイドライン（平成30年3月環境省）より）。

避難所開設準備完了



避難所開設

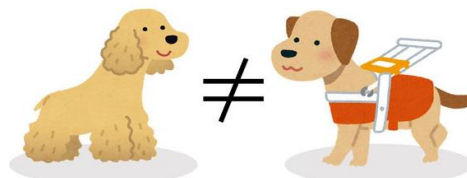


災害時には補助犬、ペットの同行避難があることを想定し、あらかじめ準備を行う必要があります。飼育エリアを何ヶ所か設置し複数の種類のペットに対応できるようにしましょう。



ペットは避難所内へ入れません。指定された場所で飼養してもらうことを伝えてください。

ただし、補助犬については同伴避難が可能なことを伝えてください



避難者カード 12-3 へ必要事項を記入してもらいます。



居住区分案内で用紙を回収し、保健衛生班へ引き継ぎます。

- 小中型のペットはケージに入れ、大型のペットについては固定された場所にリードで繋ぎましょう。
- ケージには飼い主がわかるようにケージ札を貼ってください。
- なるべく鳴き声が避難所内に届きにくい場所に風雨をしのげる対策をした場所の準備が必要です
- 飼い主自ら飼養することを伝えましょう。



※補助犬の同伴避難場所は障害物をなるべく撤去し、同伴しやすい環境を作りましょう

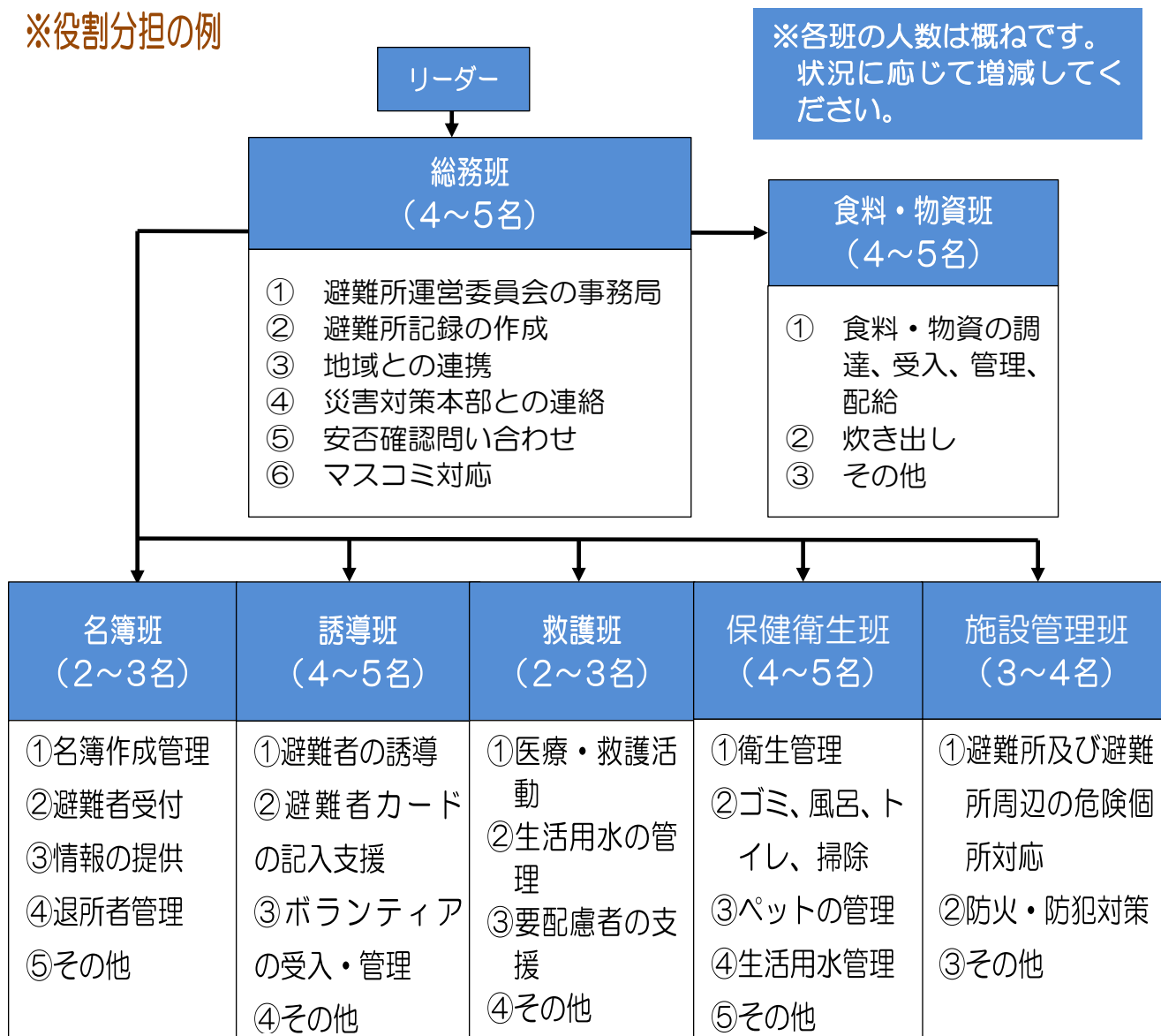
事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

2 避難者の受け入れ組織

役 割

避難所の開設準備終了後、避難者を受け入れます。スムーズな受け入れを行うため役割を分担して係を設置します。以下の図はその一例です。おおむね7日間程度の運営を視野に入れています（延長を考慮）。

※役割分担の例



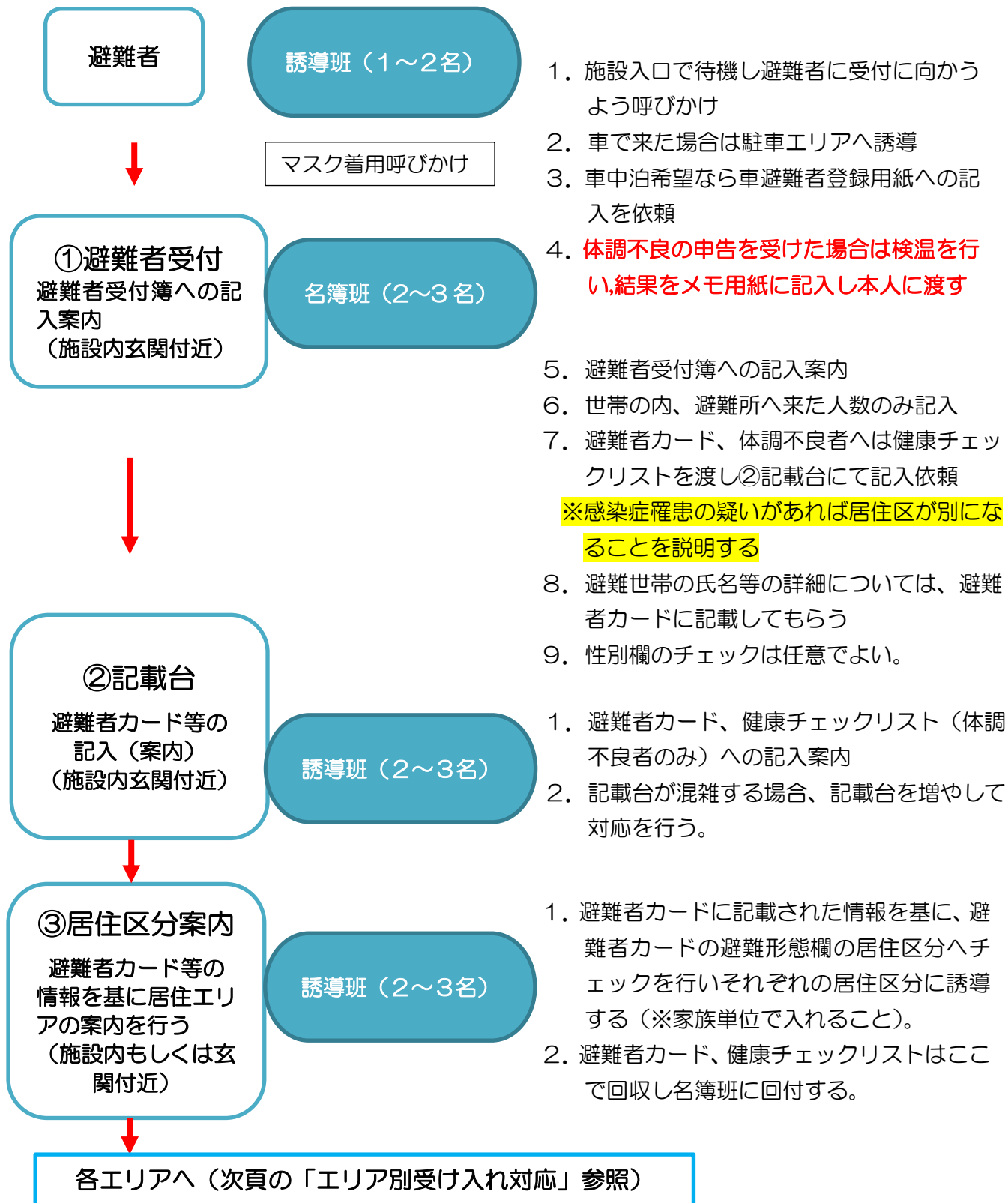
※各係の人数は目安であり、避難者の数や状況に応じて、リーダーが中心となって検討し、適宜増減してください。

※避難所内の情報を共有するため、1日朝夕2回はリーダーと各班の班長（代表者）の打ち合わせ会議を行いましょう。

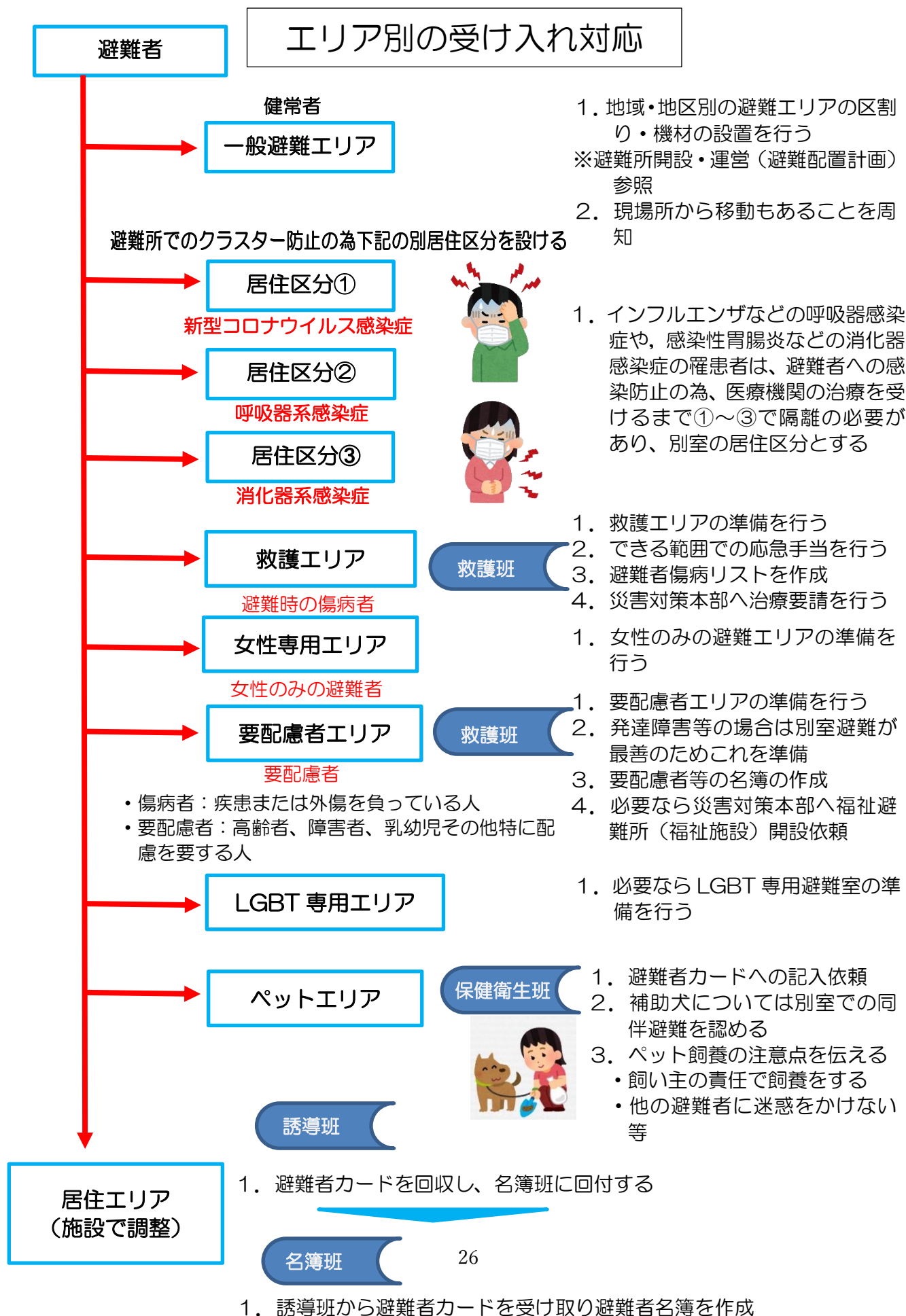
事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

2-1 避難者の受け入れ

人数は調整してください（受付等は避難者受け入れ組織の各班より抽出し対応を行うこと）



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

2-1-1 避難者の受け入れ：受付開始（受け入れ準備が出来たら）

役 割	□ 支援のベースとなる避難者受付簿への記入を呼びかけながら、避難者の受け入れを行います。避難者には毎日の体調管理を周知してください。 □ ペット、補助犬用の受付を別途設ける（流れは同じ）。
-----	---

使うもの	□ 避難者受け付けセット（避難者カード（避難所へ来た人）、（自家用車、ペット））、避難者受付簿、筆記用具、懐中電灯、名簿用紙等）
------	--

注意点	□ 避難者カード、避難者名簿等（閲覧用名簿の作成は任意です）は、外部へは非公開にしてください。マスクの着用について感染防止の観点から推奨をお願いします。
-----	--

チェック



- ① 体育館の玄関もしくは避難所内等に机と椅子を並べて、受付を開始します。
 避難者受付、記載台、居住区分案内の各受付の表示を行ってください。
 ペット・補助犬と同行で避難された方は、ペット同行避難受付へ誘導します。
 （設置していない場合は一般避難者の受付で対応してください）

※避難者受付簿には事前に通し番号を振っておくこと

「避難者受付簿のNo」は避難者の基準番号となるのもで、記入例（P-33～34）のように取得してください。

この番号に避難者の世帯の受付番号を足したものが、避難者カード（避難所へ来た人）の整理番号となります。

記入済みの「避難者カード」の回収はペット表示以外居住区分案内で係が行い、名簿班に回付します。

避難者名簿は名簿班が避難者カードを基に作成します。

チェック



- ② 避難者の受け入れ時に「避難者受付簿」（資料1-1）への記入を義務付け。世帯（避難所へ来た人数）ごと記入してもらいます。この受付で避難者カード（資料1-2-1、車、ペットは1-2-2、3、4）、車中避難者なら車中避難者登録用紙を渡し、記載台で記入し、居住区分案内へ提出するように依頼。

※（感染症対策としてマスク着用推奨及びアルコール手指消毒を依頼します）
 避難者受付簿記入後、②記載台、③居住区分案内へと進むように案内。

※ 「避難者カード」（資料1-2-1）は整理番号を記入のうえ、世帯の代表者に記入してもらいます。

※ 本人申告の体調不良の避難者には聞き取りのうえ、検温を行い健康チェックリストへの記入を依頼。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

2-1-2 避難者の受け入れ：記載台（記入補助）

役 割	☐ 避難者カード等への記入方法の補助を行う。記入後は用紙を持って居住区分案内へ誘導する。
使うもの	☐ 避難者受付等の資料（避難者カード等の記入例） ☐ 避難者カード等の記入例、筆記用具等
注意点	☐ 避難者カードへの世帯構成欄の名前は避難所へ来た人のみ記入の案内をすること。 ☐ 性的マイノリティ等多様な避難者に対応した受付を行うこと。 ☐ 避難に使用した車両は指定された場所に駐車されているか、同行したペットは飼い主自身が指定された場所で飼養を行うことを周知したか。

チェック



- ① 避難者受付が終わった避難者から、避難者カード等の必要な書類の記入について記入補助を行います。

チェック



- ②
- 避難者カードの整理番号が記入されているか確認。なければ避難者受付で確認し取得してください。
 - 世帯の構成者のうち避難した者のみ記入するように案内を行うこと。あとから避難して来る家族については、避難してきた段階で別途避難者カードに記入してもらうと説明をしてください。
 - 健常者については体温の記入は任意。ただし、避難者受付で体調不良の申し出者については健康チェックリストへの記入案内（避難者受付で渡されている）を行ってください。

チェック



- ③
- 自家用車等で避難している避難者は、駐車場での車両管理を行うため、避難者カード（車両用）に必ず記入をするように案内を行ってください。
 - ペット同行者についても同様に管理を行うため記入を依頼してください。なお、ペットの管理について聞かれたら、「避難所内での飼養はできません。持参のケージもしくはリードで繋いで指定場所での飼養（飼育）となります。」と回答してください。避難場所の指定は次の居住区分案内で案内があると伝えましょう。

記入例

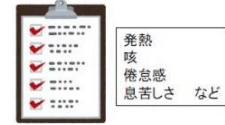


▶受付の段階で、下記の「健康チェックリスト」を参考に居住を区分します

居住区分の基本

▶目的は「避難所での感染の防止」と「要配慮者の保護」です

健康チェックリスト（受付時に記入してください）



※居住区分案内係に提出してください

記入例

↓ここは記入しないでください

入居時のゾーニングに関するチェック項目

受付日時：	年 月 日 午前・午後 時 分	一般避難所エリア ①・②・③・ 福祉避難所エリア・車中避難
整理番号：	（個人整理番号： ）	体温 38.1℃
氏 名		年齢 75 才

体調不良に関する項目

1	発熱や咳などある	はい・いいえ
2	息苦しさ、咳や	はい・いいえ
3	においや味を感じ	はい・いいえ
4	強いだるさがある	はい・いいえ
5	嘔吐や吐き気がある	はい・いいえ
6	下痢が続いている	はい・いいえ
7	感染したかも知れないと思われる症状はありますか？	はい・いいえ
8	インフルエンザと診断され治療中ですか？	はい・いいえ

・受付時に体調不良を申告した避難者へは
体温測定を行い各項目に記入を依頼

・体温 37.5℃付近と体調不良に関する項目を考慮し、感染症対策の居住区分へ案内を行う

・感染症対策として、症状が疑わしい場合は別室への避難を説明すること

持病や要配慮に関する項目

1	介護や介助が必要ですか？	はい・いいえ
2	障がいがありますか？	はい・いいえ
3	乳幼児がいますか？（妊娠中も含む）	はい・いいえ
4	呼吸器疾患、糖尿病、その他の持病はありますか？	はい・いいえ
5	この他に、心の面も含めて気になる体調の変化はありますか？	はい・いいえ

この問診表は避難者カード（資料12）と共に整理してください。

※必ずしも確定ではなく目安です、疑わしい場合は暫定的に専用の部屋へ案内し、市災害対策本部へ連絡を行ってください。

個人整理番号No

避難者健康チェックシート

フリガナ	アラタ コウタロウ	年齢	性別	★記入翌日に避難所担当者に提示してください、確認を行います。					
氏 名	荒田 耕太郎	49才	男性・女性	(避難所名：)					
項目	体温測定	朝 37.8 ℃ 夕 38.5 ℃	朝 ℃ 夕 ℃	朝 ℃ 夕 ℃	朝 ℃ 夕 ℃	朝 ℃ 夕 ℃	朝 ℃ 夕 ℃	朝 ℃ 夕 ℃	朝 ℃ 夕 ℃
息苦しさ	ひとつでも該当すれば「はい」に○ ・息が荒くなった（呼吸数が多くなった） ・急に息苦しくなった ・少し動くと息が上がる ・胸の痛みがある ・横になれない ・肩で息をしたり、ゼーゼーする	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
におい・味	においや味を感じない	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
せき・たん	せきやたんがひどい	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
だるさ	全身のだるさがある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
吐き気	吐き気がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
下痢	下痢がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
その他	その他の症状がある ・食欲がない ・鼻水・鼻づまり・のどの痛み ・頭痛・関節痛や筋肉痛 ・一日中気分がすぐれない ・からだにぶつぶつ（発疹）が出ている ・目が赤く、目やにが多い など	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
担当者確認欄		真砂							

避難者受付で体調不良の申告があり、健康チェックリスト記入・提出者のうち居住区分①・②・③と判別された者に渡して、体調管理の記録をするように依頼してください。
あくまでも任意です。無理強いしないでください。

※避難者ご自身で毎日検温等のチェックを行ってください。「はい」に○がある場合は避難所担当職員まで申し出てください。

★記入翌日に避難所担当者に提示してください、確認を行います。

避難者受付簿 No 1-1

避難者受付簿

避難所名

この避難者受付簿のNoは一日目の1枚目なのでNo1-1です。
一日目の2枚目ならNo1-2となります。
二日目の1枚目ならNo2-1です。
避難者の世帯の受付番号が1番なら、避難者カードに書く整理番号はNo1-1-1となります。

登録番号は受付簿 No+3 桁にした番号となります。
(例) 1-1001

登録番号は重複しない様に受付担当が調整を行うこと。

ペット同行避難受付を設けない場合は、ペット同行避難者もこの受付簿に記入すること。

資料 1 1 避難者受付簿

(避難者受付簿 No 2-1)

二日目記入例

避難者受付簿

記入後は資料12-1(避難者カード)と必要なら12-2、12-3、12-4を渡してください

避難所名

受付番号	入所日	入所時刻	代表者氏名	人数	住所	備考
1	4/5	5:50	庭 史郎	8	熊崎 000-0	
2	4/5	6:30	大城 五郎	3	下市 000-0	
3	4/5	10:30	市橋 二郎	6	沼田 0000	ペット 2-1002
4	4/5	10:35	多田 公男	2	高屋 000-0	
5	4/5	10:40	大橋 二郎	3	上市 00-0	ペット 2-1003
6	4/5	10:50	銚子 信一郎	4	河本 0000	
7	4/5	10:55	黒戸 景子	3	上市 000-0	ペット 2-1004
8	4/5	11:00	山田 太郎	2	西中 00-0	車中避難

この避難者受付簿のNoは二日の1枚目なのでNo2-1です。

二日目の2枚目ならNo2-2です。

二日目の避難者の受付番号が1番なら、避難者カードに書く整理番号はNo2-1-1となります。

ペット同行避難者受付を設置しない場合は、受付担当者が備考欄にペット同行がわかるように、上段に「ペット」と記入し、下段に「資料 12-3」用の登録番号を取得してください。

登録番号は受付簿 No+3 桁にした番号となります。
2 日目以降は前日からの続きの番号を記入すること。
(例) 2-1002

避難者が多数の場合は受付での混乱を防ぐため、1 日目は避難者受付簿 No1-1、No1-2、2 日目はNo2-1、No2-2 のように通し番号を記入し、複数枚で対応を行う。

ペット同行避難受付を設けない場合は、ペット同行避難者もこの受付簿に記入すること。

避難所名：

記入日：

年 月 日

整理番号	担当が記入します	1-1-1	避難形態 担当が記入	避難所・テント・車中・同伴 居住区分：一般・福・1・2・3				
住所	〒709-0898 赤磐市下市344			携帯電話：090-0000-0000 自宅電話：086-955-0000				
世帯構成	名前（ふりがな）	体温	続柄	性別	年齢	血液型	その他配慮すること	
	番号	ふりがな	あかいわ たろう	36.5℃	世帯主	男(男)女	38才	A
	1	赤磐 太郎						
	番号	ふりがな	あかいわ なつみ	36.4℃	妻	男(女)女	34才	O
	2	赤磐 奈津実						
	番号	ふりがな	あかいわ いちたろう	36.6℃	子	男(男)女	11才	A
	3	赤磐 一太郎						
	番号	ふりがな	あかいわ ななえ	36.2℃	子	男(女)女	8才	O
4	赤磐 奈々枝							
番号	ふりがな	あかいわ はなこ	36.0℃	母	男(女)女	68才	A・B	
5	赤磐 花子							
配慮が必要な場合記入してください		母が歩行困難なので、椅子の使用をお願いしたい。						
家屋の被害状況		全壊・半壊・一部損壊・その他（断水・停電・ガス停止・電話不通）						
安否確認のための情報開示希望（同意）		希望する・希望しない						
緊急連絡先 家族以外		名前：岡山 桃太郎			自宅電話：086-226-0000			
		住所：岡山市内山下2-4-6			携帯電話：080-0000-0000			
車両・ペット・補助犬 資料12-2.3に記載		避難車両	有・無		ペット 補助犬	有・無		

今後記載に内容に変更があった場合は、その都度申し出てください。※避難所へ来た人のみ書いてください。

避難所運営委員会記載欄

退所年月日	年 月 日
退所先 □自宅 □その他 →	〒 住所： 電話番号
特記事項：	

※ 避難者名簿、要配慮者等の名簿
照会用避難者名簿への転記を忘れずに。

※ 体温の測定・記入は任意です。

避難者カード（車両用）

避難者カード：代表者名 赤磐 太郎

整理番号 No 1-1-1

※ 担当が記入します

車、バイクでの避難者について下記の項目について記入してください

No	車両番号	車種・色	備考
1	岡山 330 ろ 12-34	ニッサン セレナ・白色	
備考			

資料1 2-3 避難者カード（ペット）

記入例

※避難者カード（12-1）
の整理番号

同行避難ペット登録票

整理番号：1-1-1

入所日	年 月 日
退所日	年 月 日

登録番号	1-1001
------	--------

飼い主の情報		氏 名	赤磐 太郎
		避 難 前 住 所	赤磐市下市344
		連 絡 先	090-0000-0000
		避 難 場 所	日名小学校
ペ ッ ト の 情 報	名 前	クッキー	
	種 別	犬・猫・その他（	
	種 類	ボーダーコリー	
	毛 色	白黒の長毛	
	年 齢	3 歳 ※不明な場合は推定年齢	
	特徴（性格）	体格：中型、赤い首輪、（おとなしい）	
	性 別	オス・メス	
	不妊去勢	済・未	
	混合ワクチン	接種済み・未接種	
	登録の有無	有・無	
	狂犬病予防注射	済・未	
	マイクロチップ	あり（ ）・なし	
飼 養 場 所 担当者記入		体育館と校舎の間でケージに入れて飼養。	

※注意
多頭避難の場合は、その
数だけ登録票を記入して
もらってください。

※資料1 2-4 ケージ札へ必要事項を記入した後、飼い主に渡してケージに貼るように依頼してください。

表

避難所名	日名小学校
登録番号	1-1001
ペットの名称	クッキー
飼い主氏名	赤磐 太郎
特記事項 (飼養場所)	体育館と校舎の間にケージに入れて飼養

注意事項は裏面

-----キリトリ線-----

貼付用

ペット表示

避難所名	日名小学校
登録番号	1-1001
ペットの名称	クッキー
飼い主氏名	赤磐 太郎
特記事項	おとなしい性格

この「ペット表示」をペットのケージ等に剥がれないように貼ってください

ペット同行避難の注意事項

- ケージは持参されていますか。
- ペットは避難所内へ持ち込みは出来ません。
- ケージにもしくはリードを繋いで、指定された場所で飼い主が責任を持って飼養してください。
- 「ペット表示」を渡しますので下段を切り取り、剥がれないようにケージ等に貼ってください。
- 餌はご自身でご用意ください。
- その他、ペットのことで不安になられたら相談してください。

避難所運営委員会

資料13 避難者名簿

避難者名簿

避難所名：

No. 1

No	公開 可 不可	個人 整理番号	ふりがな	年 齢	性別	住 所	現在の状況 必要とする支援	入所 年月日	退所 年月日
			氏 名						
1	可	1-1-1-1	あかいわ たろう 赤磐 太郎	38 才	男 女	下市 344	特になし	4/4	
2	可	1-1-1-2	あかいわ なつみ 赤磐 奈津実	34 才	男 女	同上	特になし	4/4	
3	可	1-1-1-3	あかいわ いちたろう 赤磐 一太郎	11 才	男 女	同上	特になし	4/4	
4	可	1-1-1-4	あかいわ ななえ 赤磐 奈々枝	9 才	男 女	同上	特になし	4/4	
5	可	1-1-1-5	あかいわ はなこ 赤磐 花子	68 才	男 女	同上	椅子の使用	4/4	
6	可	1-1-2-1	ちたま くまお 地球 熊男	89 才	男 女	沼田 000	介護1 認知症 つえ歩行	4/4	
7	不可	1-1-3-1	そら あきお 宇宙 明夫	75 才	男 女	西中 0000	特になし	4/4	
8	不可	1-1-3-2	そら ふみこ 宇宙 文子	75 才	男 女	同上	特になし	4/4	
9	不可	1-1-3-3	そら とらきち 宇宙 寅吉	98 才	男 女	同上	介護3 認知症	4/4	
				才	男 女				

※1 用紙が足りないときは複写して使用してください。

※2 避難者の一括管理を行うために使用します。

個人整理番号の取得：避難者カードの
(整理番号＋名前の左側の番号)

資料13-1 避難者名簿（車中避難者用）

記入例

避難者名簿（車中避難者）

避難所名：

No. 1

No	公開 可 不可	個人 整理番号	ふりがな	年 齢	性別	住 所	現在の状況 必要とする支援	入所 年月日	退所 年月日
			氏 名						
1	可	2-1-8-1	やまだ たろう 山田 太郎	48 才	♂ 女	西中 00-0	アレルギー のどの痛みあり	4/5	
2	可	2-1-8-2	やまだ はなこ 山田 花子	48 才	男 ♀	同上	特になし	4/5	
				才	男 女				
				才	男 女				
				才	男 女				
				才	男 女				
				才	男 女				
				才	男 女				
				才	男 女				
				才	男 女				

※1 用紙が足りないときは複写して使用してください。

※2 避難者の一括管理を行うために使用します。

資料14 避難所における要配慮者等の名簿

記入例

年 月 日

避難所名.

作成年月日		年 月 日				
個人 整理番号	(ふりがな) 氏名	性別	年齢	本人の状況	必要な介助	対応
1-1-2-1	ちたま くまお	男	85	介護1、軽い認知症、つえ歩行	見守り 声掛け	避難所内での対応
	地球 熊男	女				
1-1-3-1	そら あきお	男	75	特になし	特になし	見守り
	宇宙 明夫	女				
1-1-3-2	そら ふみこ	男	75	特になし	特になし	見守り
	宇宙 文子	女				
1-1-3-3	そら とらきち	男	98	介護3 認知症	見守り 声掛け	福祉避難所での避難が妥当
	宇宙 寅吉	女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				

※福祉避難所への移送が必要な場合は、市災害対策本部へ報告してください。

避難所名

年 4月 4日分

番号	ふりがな 氏 名	性別	年齢	住所	照会日	照会者
1	あかいわ たろう 赤磐 太郎	38 才	♂ 女	下市 344	4月6日	岡山桃太郎
2	あかいわ なつみ 赤磐 奈津実	34 才	男 ♀	同上		
3	あかいわ いちたろう 赤磐 一太郎	11 才	♂ 女	同上		
4	あかいわ ななえ 赤磐 奈々枝	9 才	男 ♀	同上		
5	あかいわ はなこ 赤磐 花子	68 才	男 ♀	同上		
6	ちたま くまお 地球 熊男	89 才	♂ 女	沼田 000	4月6日	大阪一朗
7		才	男 女			
8		才	男 女			
9		才	男 女			
10		才	男 女			
12		才	男 女			
13		才	男 女			
14		才	男 女			

照会があったら照会日と照会者名
をここへ記入してください。

毎日照会があるごとに記入を行っ
てください。

※避難者名簿は個人情報です。避難者の照会については相手方の名前を聞き取りしてくだ
さい

資料15-1 車中避難者登録用紙

記入例

避難所名	
住 所	西中00-0
入所日	年 4 月 5 日
退所日	年 月 日

避難している車の情報

メーカー名	トヨタ
車名	プリウス
色	白
ナンバー	12-34

移動される場合は、受付までその旨伝えてください。

	氏名	性別	年齢	避難にあたっての 配慮の必要性 ※1	健康状態 ※2	体温
1	山田 太郎	男・女	歳 48	必要・不要 ↳ (アレルギー)	有・無 ↳ (のどの痛み)	℃ 36.5
2	山田 花子	男・女	歳 48	必要・不要 ↳ ()	有・無 ↳ ()	℃ 36.4
3		男・女	歳	必要・不要 ↳ ()	有・無 ↳ ()	℃
4		男・女	歳	必要・不要 ↳ ()	有・無 ↳ ()	℃
5		男・女	歳	必要・不要 ↳ ()	有・無 ↳ ()	℃

※1 配慮が必要な場合は「必要」に○印を、その内容をカッコ内に記入してください。

【呼吸器疾患・糖尿病・高血圧、服薬、要介護、心身障がい、妊産婦、アレルギーなど】

※2 体調が悪くなれば直ちに申し出てください。

避難者傷病リスト

避難所名

番号	対処日	個人整理 番号	ふりがな 氏名	年齢 (歳)	性別	傷病名 (わかれば)	どのような症状もしくは傷の程度か	措置内容	備 考 (処置等内容)	
1	4/4	1-1-4-3	ちかだ たろう 近田 太郎	55	男 女	ねんざの疑 い	避難中に左足首をひねった 歩行困難	・救急車依頼	病院でねんざの処置 を行う	
2	4/5	1-2-8-2	かねだ よしこ 金田 良子	48	男 女	発熱と悪寒	風邪の症状であるが詳細は不明	・病院を受診する	インフルエンザとの 診断（居住区分②）	
3					男 女					
4					男 女					
5			・項目ごとにわかる範囲で記入をお願いします。 ・傷病者の負傷の程度、症状を簡易ではあるが記録を行います。 ・感染症と診断されれば、避難所で症状にあった対応をお願いします (居住区分①～③)。 ・入院等の措置については医師の判断に任せてください。							
6										
7										
8					男 女					

※傷病者が確認されれば市災害対策本部へ連絡し、必要なら救急車の要請を行ってください。

避難所名

受付 番号	入所 日	退所 日	登録番号	車種・塗装色	整理番号	使用者	避難場所	備 考
1	4/4		岡山 330 ろ 12-34	ニッサン セレナ 白黒2色	1-1-1	赤磐 太郎	体育館	
2	4/4		岡山 502 あ 56-78	スバル サンバー シルバー	1-1-3	宇宙 明夫	体育館	
3	4/5		岡山 320 は 11-11	トヨタ プリウス 白色	2-1-8-1	山田 太郎	グラウンド 車中泊	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

避難所内避難者の車両の整理番号は
世帯番号を記入。
車中泊の避難者は運転手の個人整理
番号を記入してください。

同行避難ペット一覧

記入例

No 1

避難所名

受付 番号	入所 日	退所 日	飼い主氏名 登録番号	(ふりがな) ペット名	ペット種類 (犬・猫・その他)	性別	毛色 大きさ	ペットの避難場所 飼い主の避難場所	備 考
1	4/4		赤磐 太郎 1-1001	(くっきー) クッキー	ボーダーコリー (犬・猫・その他)	メス	白黒 中型犬	体育館と校舎の間 体育館	おとなしい
2	4/5		市橋 二郎 2-1002	(うすら) 鶉	ラグドール (犬・猫・その他)	メス	バイカラー 中型猫	体育館と校舎の間 体育館	人なつこい
3	4/5		大橋 三郎 2-1003	(まいたけ) 舞茸	ヒマラヤン (犬・猫・その他)	オス	ブルーポイント 中型猫	体育館と校舎の間 体育館	おとなしい
4	4/5		黒戸 景子 2-1004	(こうた) 航太	チャウチャウ (犬・猫・その他)	オス	茶色 大型犬	グラウンドテント内 体育館	エサを食べている時に触ると 咬みつきます
5				()	(犬・猫・その他)				
6				()	(犬・猫・その他)				
7				()	(犬・猫・その他)				
9				()	(犬・猫・その他)				

ペット同行避難に対応できるように施設管理者と場所等及び受け入れ可能頭数等の調整等を行っておきましょう。

資料 18-1 補助犬利用避難者一覧

記入例

補助犬利用避難者一覧

避難所名

受付 番号	入所 日	退所 日	利用者氏名	(ふりがな) 補助犬名	補助犬種類 (盲導犬・介助犬・聴導犬)	性別	毛色 大きさ	介助者名	備 考
1	4/4		玉田 次郎	みるく	(盲導犬・ <u>介助犬</u> ・聴導犬)	メス	黒 大型		
2					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
3					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
4					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
5	補助犬同伴避難に対応できるように 施設管理者と避難場所等の調整を行 っておきましょう。				(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
6					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
7					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
8					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
9					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				

避難所外避難者物資配布希望受付一覧

No 1

受付日 年 月 日

避難所名

No	氏名 (世帯主) ※2	同居 人数	住所	連絡先 ※3	ライフライン（被害がある場合、丸印を付ける）※4	食料・物資 の提供	備考
1	空田 祐一	5	赤磐市西中 0000	090-0000-0000	電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
2	岸田 寅太	4	赤磐市下市 00-0	080-0000-0000	電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
3	橋田 巖	7	赤磐市河本 000-0	090-0000-0000	電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
4	山下 三郎	5	赤磐市下市 000-00	080-0000-0000	電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
5	上杉 新字	3	赤磐市河本 00-00	080-0000-0000	電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
6	出木杉 新	6	赤磐市沼田 00-0	090-0000-0000	電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
					電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
					電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
					電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	

※1 この一覧は市災害対策本部と共有を行うため、避難者名簿等の報告時に添付してください。

※2 在宅避難している被災住民が避難所へ直接食料・物資の提供、その他サービスの要望の問い合わせがあった場合について記入を依頼する。

※3 必要な情報は避難所内の掲示板に掲示するので直接連絡はしない旨伝えてください。直接食料等を取りに来ることを了承してもらいます。

※4 ライフラインについてわかる範囲でチェックしてもらってください（被害の把握のため）。

2-1-3 居住区分案内

- ・居住区分案内係は多様な避難者を速やかにそして適切に該当の避難エリアに案内をする必要があります。健常者を除き、高齢者、要配慮者（女性含む）等は避難所で配慮する必要がある、それぞれの「居住区分」に沿い、配慮を念頭に案内をお願いします。
- ・夜間に災害が発生し風雨が激しい時の緊急一時避難の場合は、避難所の開設準備が整う間がないかもしれません。こういった場合、居住エリアに避難者を先に収容し避難者名簿を後から整えるといった作業も検討しておくべきです。
- ・次頁から、多様な避難者について留意することを記載しています。避難者の尊厳に配慮してください。



前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
-----	------	-----	-----	-----

多様な避難者の居住区分エリアへの案内

誰にとっても、安心・安全な避難所での対応について

避難所への避難者は多様にわたります。避難所への受け入れにおいて避難者に対応した居住区分を設定し、適切な居住エリアへの案内をお願いします。

避難者エリア	定義	対応	備考
健常者 ・通常の避難エリア	・健康な者	・一般避難エリアでの対応	避難の運営の手伝いを案内する。
要配慮者 ・避難エリア内での地区福祉避難所 ・福祉避難室	・ここでいう要配慮者とは、高齢者のみの世帯もしくは介護度が比較的高く、要配慮者施設への入所待ち等の高齢者をいう。	・地区福祉避難所エリアもしくは福祉避難室への案内を行うが、介護度が高めれば福祉避難所への送致案内を行う（緊急入所含む）。	家族と避難なら、一般避難エリアで対応可。 ただし、認知症の場合は家族の付き添いを原則とすること。
感染者もしくはその疑いがある者 ・居住区分①、②、③を設けておくこと。	・他者への感染のおそれが高い、呼吸器系・消化器系感染症罹患者もしくは疑いのある者。	・プライバシーに配慮しつつ専用の部屋へ案内を行う。	対象者が確認できれば、あらかじめ用意した対象者用の居住区分①、②、③へ案内し市災害対策本部へ連絡を行い、医療支援を要請する
障害者 ・地区福祉避難所エリア ・福祉避難室	身体障害者をさす。 ・肢体不自由 ・聴覚障害 ・視覚障害 ・その他内部障害のある者。	・対象者は行動に制限がある為、段差の解消（スロープ設置）、コミュニケーションボード、掲示の読み上げ等の配慮が必要。 ・施設の1階もしくは車椅子で利用可能な低層階を居住エリアとしてください。 ・車椅子、精神的に障害のある者については介助者の付き添いを求める。	障害の程度は多岐にわたります。福祉避難エリアで対応できるか、医療機関への送致が妥当かは当事者もしくは介助者と相談のうえ決めてください。

発達障害（障害者） ・福祉避難室で対応（なるべく別室とした方が本人が落ち着く）	発達障害、精神障害 ・周囲との意思疎通や環境適応が困難で置かれている状況への不安や混乱、感覚過敏があり集団ではパニックになることがある。 知的障害 ・自分自身の状況を伝えられないことや、置かれている周囲の状況への不安や混乱がある。	・どちらも落ち着いた環境、家族と同室の部屋とし、支援者や話し相手が必要。	障害の違いが分かりにくい、別室での避難が原則となる。
妊婦・乳幼児	妊婦 ・妊娠したものとの徴候があらわれてから分娩開始までの期間における婦人という 乳児 ・児童福祉法では、満1歳未満（出生から0歳11ヶ月の最終日まで）の赤ちゃんのこと。 幼児 ・同法で、満1歳～7歳児未満の小学校入学前の未就学児のこと。	・授乳室やおむつの着替え室の確保として、専用の別室もしくは専用テントが必要。	・あらかじめ幼児の遊ぶスペースの確保を行う。
女性避難者	・女性のみの避難者	・専用の避難室もしくは専用エリアを設ける。	安心して避難できる環境を整える。
車中避難者	・避難所内での避難ではなく、車中での避難を選択した者。	・指定の駐車枠を使用し、避難の受付を完了することを案内する。	避難所内の情報は、掲示板等で確認することを伝える。
ペット同行避難者	・ペットを連れて避難した避難者 ・同伴避難は不可（※施設側とあらかじめ調整を行い部屋が確保できれば可とする）	・ペットは避難所内へ入れないため指定された場所で飼養。 ・小型・中型ペットについてはケージを使用し、大型ペットについてはリードを繋いで飼養してもらうこと。	餌・排泄については飼主が行うことを周知。

補助犬同伴避難者	使用者に障害があるため、盲導犬、聴導犬、介助犬を伴った避難者 ・同伴避難は可（施設側とあらかじめ調整を行うこと）	行動に制限がある為、避難エリアは1階へ福祉避難室を設ける。	基本的に単独で行動できるが、避難所の情報は別途掲示板等で案内することを周知する。 給餌・排泄については使用者が行うことを周知するが、必要なら手伝うことを案内する。
傷病者	治療中であるか、避難途中に負傷した避難者 病気療養中の避難者	家族等の同伴の場合は一般避難エリアで対応可であるが、一人で避難の場合は地区福祉避難エリアもしくは福祉避難室等で対応。	応急手当ののち負傷の程度により救急搬送を依頼する。 病気の程度により避難所での療養もしくは病院へ送致。
性的マイノリティ	同性愛者、体の性ところの性が一致しない人など	・周囲の理解欠如や根強い偏見により精神的な不安があるため、当事者や支援者が安心して集まれる専用の部屋を設ける。	多目的トイレや専用の更衣室を設けておくこと。
外国人避難者	国籍は問わず日本語を母国語としない者	・日本語での情報収集や伝達が不十分で、生活習慣や食事、宗教の違いがあり対応は多岐にわたるが、同じ国の人が集まれるような部屋もしくは場所が必要である。 ・多言語や母国語による情報提供や支援者が必要。	日本語が理解できれば通訳等で避難所運営の協力を依頼する。 宗教・文化の違いにより、特定の食材しか受け付けられない避難者もいると想定されるので、調達についてあらかじめ留意しておく。

以下に多様な避難者への主な居住区分案内を載せています（想定される多様な避難者の詳細については、「避難所開設・運営マニュアル」を参照してください）。

避難者のプライバシー、尊厳を尊重しながら居住区分案内を行ってください。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

居住区分案内：共通（誘導班）

役 割	避難者カード等の記入が終った避難者を居住区分ごとに案内します。
-----	---------------------------------

使うもの	☐ 配置計画書、筆記用具等 ☐ 机×必要数、椅子×必要数（体育館に備え付けられていれば）
------	---

注意点	☐ 場所の移動をお願いすることがある旨を伝えます。 ☐ 居住区分①、②、③該当避難者については、感染症防止の為一般避難者とは違うエリアでの避難となることを説明し了承してもらう。
-----	---

チェック



- ①・「居住区分案内受付」に待機します。

チェック



- ②
- 記入が終わった避難カード等に記入漏れがないかチェックし、居住区分を決定し該当欄にチェックします。「避難者カード」（資料 12-1、2、3、4）整理番号等の記入を確認した後用紙はここで回収し、名簿係に回付します。健康チェックリストも同様です。

チェック



- ③
- 避難者を居住エリアに誘導します。（避難者を待たせることなく案内をしてください。）
 - 傷病者については、応急救護所へ案内（設置されていれば）もしくは救急搬送対応をとってください。
- ※健康チェックリストを参考に居住区分①、②、③該当避難者については、あらかじめ決めた動線を移動し、一般避難者との接触を避けます。

チェック



- ④
- 誘導した避難者を各自の居住エリアに案内の後、次の説明を行います。
「現在の場所は暫定です。再移動してもらうことがあります。」
「避難所のルール順守にご協力ください。家族が多い場合は避難場所について配慮します。」と伝えてください。

チェック



- ⑤
- 居住区分①・②・③の該当者については、市災害対策本部へ治療のための医師・看護師の派遣を要請すること。
 - 入所前からの感染（体調不良）については、世帯で罹患の可能性があるので、家族に検温・健康チェックリストの記入を求める。



居住エリアの割り当ては該当避難者の取り扱いを慎重に。

➤ 事前に居住区分について説明を行っておくこと

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

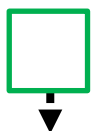
居住区分案内（要配慮者）

役 割	☐ 避難カードより要配慮者の把握を行います。 ☐ 避難者を居住区分ごとに案内します。
-----	---

使うもの	☐ 配置計画書、筆記用具等 ☐ 車いす、毛布類
------	--

注意点	☐ 場所の移動をお願いすることがある旨を伝えます。 ☐ ここでいう要配慮者とは高齢者のみの世帯、もしくは一人暮らしの高齢者、介護度が高い高齢者を言います。障害児、乳幼児幼同伴の避難者等の居住区分案内は該当頁を参照してください。
-----	--

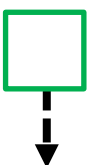
チェック



① 「居住区分案内受付」に待機します。

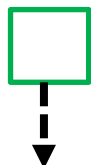


チェック



- ②
- 対象者の容体を確認してください。介護度が高い（認知症含む）、容体が不安定な要配慮者の場合、避難所に対応できるか判断できかねる場合でも一時的に受け入れてください。
 - 車いすを積極的に使用してください。
- ※対応できない場合は市災害対策本部へ連絡し、福祉避難所の手配を要請のこと

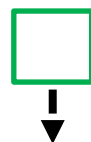
チェック



- ③
- 対象者を地区福祉避難エリアに誘導します。案内する前に知り合いが一般の避難エリア避難しており、当事者双方の了解があれば、一般避難エリアに避難でも問題ありません。
 - 1か所に1世帯2名を基準としていることを伝えてください。1世帯が1名なら一人で利用できることを伝えます。



チェック



- ④ 誘導した避難者に次の説明を行います。
- 「体調がすぐれない場合は避難所担当者まで伝えてください。医療機関等へ受診できるように手配を行います。」



●居住区分の割り当ては要配慮者の状況をみながら行ってください。

➤ 事前に居住区分について説明を行っておくこと。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

居住区分案内（感染者またはその疑いを含む）

役 割	☐ 健康チェックリストより感染の疑いのある者の把握を行います。 ☐ 対象者を居住区分①～③ごとに案内します。 ☐ ここでいう感染者とは、新型コロナウイルス感染症、呼吸器感染症、消化器感染症の罹患者をいいます。罹患の疑いのある避難者の居住区分を分けることは避難所内でのクラスター防止のためです。
-----	---

使うもの	☐ 配置計画書、筆記用具等 ☐ 車いす、毛布類
------	--



注意点	☐ 感染に気を付けて必ずマスクは着用のこと。 ☐ 移動の際は、なるべく一般避難者と接触や動線が交わらないように。 ☐ 対象者に別避難についての説明を行ってください。 ☐ 対象者へのプライバシーに配慮してください。 ☐ 市災害対策本部へ対象者の避難について報告を行うこと。 ☐ 対象者へ健康チェックシートを渡し、記入を依頼します。
-----	---

チェック



① 「居住区分案内受付」に待機します。

チェック



②

- 対象者の容体を確認してください。容体が不安定な避難者の場合、避難所で対応できるか判断できかねる場合でも一時的に受け入れてください。
- 車いすを積極的に使用してください。

※対応できない場合は市災害対策本部へ連絡し、医療機関への移送の手配を要請のこと

チェック



③

- 対象者を該当する居住区分①～③に誘導します。感染症罹患の疑いがある者でも、症状（呼吸器系、消化器系）が違えば居住区分を分けてください。

家族で避難の場合、同居家族の健康状態も出来るだけチェックしてください。症状があれば家族で居住区分①～③に避難してもらいましょう。



- 居住区分の割り当ては避難者の健康状況をみながら行ってください。
 - 感染症の場合、避難所内で蔓延し一般避難者が感染し発症する可能性があります。
- 受付でのトラブル防止により、事前に居住区分について説明を行っておくことが望ましい。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

居住区分案内（障害者）

役 割	☐ 本人申告及び避難カードより障害者の把握を行います。 ☐ 避難者を一般避難エリア、地区福祉避難エリアもしくは福祉避難室に障害の程度もしくは本人または家族の希望に応じて案内します
-----	--

使うもの	☐ 配置計画書、筆記用具等、必要な福祉用具（市災害対策本部へ要請） ☐ 車いす、毛布類、コミュニケーションボード（聴覚障害者用）、
------	--

注意点	☐ ここでいう障害者とは以下に列挙する身体的、精神的に疾患を持つ健常者ではない避難者のことを言います。 ☐ 避難所では、視覚障害・聴覚障害・身体障害・肢体不自由・内部障害・知的障害・精神障害・その他（高次脳機能障害や発達障害）の避難支援を行います。 ☐ 高齢者、介護度が高い高齢者、発達障害・知的障害、乳児幼同伴の避難者の居住区分案内は対象のページを参照してください。 ☐ 障害者の避難支援は相手への思いやりを持ち、移動等への配慮を持って行ってください（車いす等）。 ☐ 対象者が家族もしくは介助者と避難してきたかどうか確認してください。一人で避難してきた場合でも受け入れ、最終的な身元確認を行います。 ☐ 「お願いする」⇔「する」だけではなく、お互いの立場を尊重しコミュニケーションを取りながら、必要な支援は何かを確認します。 ☐ 笑顔で対応し、相手のプライバシーを尊重してください。
-----	--

チェック



① 「居住区分案内受付」に待機します。

チェック



② 障害を理解し適切な居住区分案内を行いましょう。
 ②・障害を持っている人は健常者と違い自由な行動がとりにくく、自ら「困っていること」を伝えられない人がいます。

チェック



③ いきなり案内を行うのではなく、移動、誘導にあたりどのように補助すればよいか本人に伝えてもらい行ってください。段差、階段（スロープ可）を通らない動線を考え対象の場所まで案内してください。



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

居住区分案内（発達障害・知的障害者）

役 割	発達障害者、知的障害者については、同伴者（介助者）と相談のうえ居住区分へ案内をする。なお、避難は介助者同伴を原則とする。
-----	--

使うもの	☐ 配置計画書、筆記用具等 ☐ 車いす、毛布類、必要な福祉用具（市災害対策本部へ要請）
------	--

注意点	☐ 対象者が家族もしくは介助者と避難してきたことを確認してください。一人で避難してきた場合でも受け入れ、最終的な身元確認を行います。 ☐ 「お願いします」⇔「する」だけではなく、お互いの立場を尊重しコミュニケーションを取りながら、必要な支援は何かを確認します。 ☐ 笑顔で対応してください。 ☐ 相手のプライバシーを尊重してください。
-----	--

チェック



違いを理解し適切な居住区分案内を！

- ①
- ・発達障害は、生まれつきの脳機能の発達の偏りにより、日常生活に支障が出ている状態のこと。
 - ・知的障害とは、発達期までに生じた知的発達の遅れにより、社会生活への適応が困難になっている状態のことです。
（また、この2つが重複していることもあり判断は難しい。）

チェック



- ②
- ・優しく落ち着いた声で「具体的に」「はっきりと」話し、介助者に避難するうえでの問題点と必要な支援は何か必要か伝えてもらう。
 - ・同時に、トイレの場所、食事の提供等のサービスについて同伴者と本人に伝えてください。

チェック



- ③
- ・落ち着いた環境で避難できるように配慮した避難室等へ案内を行う。その際、家族もしくは介助者の同伴避難を求める。

チェック



- ④
- ・喀痰吸引等の医療行為を伴う重度の障害者について、医療機器の使用は操作方法の研修を受け終了した介助者もしくは家族、医療関係者のみの使用となるため、家族もしくは介助者の通日の付き添いが必要になります。もし容体が悪化すれば医師の派遣もしくは医療機関への搬送を市災害対策本部へ要請することを伝えましょう。
電源の確保をしましょう。
 - ・避難所での対応が難しければ、福祉避難所での対応を要請。



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

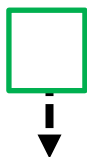
居住区分案内（妊婦・乳幼児）

役 割	妊婦、幼児への心身の安静、気を休める場所の提供。
-----	--------------------------

使うもの	☐ 配置計画書、筆記用具等 ☐ 大型の避難テント、専用の避難室、車いす、毛布類、懐中電灯等
------	--

注意点	☐ 授乳やおむつ替えの場所は、外部から見えないように出来るだけ大型の避難テントを使用する。 ☐ 妊婦、乳幼児のみで避難している避難者のために積極的に専用の避難室を確保する。 ☐ 避難でストレスが溜まっていることから笑顔で対応してください。 ☐ 幼児が遊べる場所を確保できるようにしましょう。
-----	--

チェック



- ① ・大勢の避難者の中で、乳児の夜泣きは他の避難者の迷惑になると母親にとっては精神的なストレスになります。避難区分（専用の避難室）を分けることでストレスも減り、安心した避難が行われます。

チェック



- ② ・専用の避難室を設けることが出来ない場合は、授乳室（もしくは大型テント）に近い場所へ案内をする。

チェック



- ③ ・落ち着いた環境で避難できるように考慮する。



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

居住区分案内（女性専用）

役 割	女性が安心して避難することのできる避難場所の提供。女性が案内を！
-----	----------------------------------

使うもの	☐ 配置計画書、筆記用具等 ☐ 専用の避難室、懐中電灯等
------	---

注意点	☐ 女性専用の避難室を確保すること（避難所担当者であっても、緊急時以外は男性の入室は不可としてください）。 ☐ 積極的に専用の避難室を確保する。 ☐ 性犯罪防止のため、外から内部が見えないように窓にはカーテン等で目隠しを行いましょう。
-----	--

チェック



性犯罪が起こることを想定し適切な居住区分案内を！

- ①
- 女性のための避難者は女性専用の避難エリアもしくは避難室へ案内してください。プライベートの無い空間での（避難テントはあるが）就寝、着替え等の状況はストレスと不安そのものです。
 - 女性のための避難者に安全を提供するため居住区分を分けることを説明してください

チェック



- ②
- 個々に避難テントもしくは間仕切りを設置した女性専用避難室に案内。

チェック



- ③
- 落ち着いた環境で避難できるように配慮していることを伝え、困ったことがあれば女性の担当者に相談することを勧める。

チェック



- ④
- この部屋には緊急時を除き、男性は入室禁止にしていることも伝える。
※「女性のみ入室可もしくは「男性入室禁止！」等の張り紙で周知。



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

車中避難者への対応

役 割	車中での避難者を認めたら、車中避難の意思を確認し車中避難者登録用紙の記入を依頼。
-----	--

使うもの	☐ 車中避難者登録用紙（避難者カードについては任意です。）、健康チェックリスト、筆記用具、懐中電灯等
------	---

注意点	☐ 車中避難者登録用紙は必ず回収してください。 ☐ また名簿等は、非公開にしてください（照会用避難者名簿の作成は任意です）。
-----	---

チェック



- ① ・「**駐車場が見渡せる場所**」に待機します。

チェック



- ②
- ・車中避難を認めたら声をかけ、避難所に入るかどうか意思を確認してください。車中避難者なら、あらかじめ決めたエリアに移動してもらい**車中避難者登録用紙を渡し記入してもらってください。**（専用駐車エリアをあらかじめ決めておきましょう）。
 - ・同時に、トイレの場所、食事の提供等のサービスについて避難者と同様にすると伝えてください（あらかじめトイレの使用場所等の図面を作って渡すと便利です）。

チェック



- ③
- ・**車中避難者登録用紙**を回収し、記載された事項を避難者受付簿（車中避難者用（13-1）に別作成してください：名簿班）に転記してください。（避難者数の把握は避難所物資の要請数量に必須です。）
 - ※傷病者については、応急救護所へ案内（設置していれば）してください。
 - ※**車中避難者が①、②、③該当なら一般避難者との接触を避け区分に従った部屋に収容してください（車中避難者の容態を見て決めてください）。**
 - ※**エコノミークラス症候群の対策について説明してください**
 - ※**閉め切った車内での一酸化中毒にも注意喚起をお願いします**

チェック



- ・「**車中避難**から**避難所内**へ避難する場合は、避難所内の混雑状況をみて判断してください」

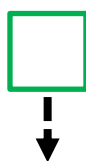


事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

ペット同行避難者への対応（保健衛生班）

役 割	・ペットは避難所へ入れない旨を伝え、ペットの飼養場所の提供を行ってください。 ・ペットの飼養（給餌、排泄）については避難者自身です。
使うもの	☐ 避難者カード（資料 12-1、2、3、4）、同行避難ペット一覧（資料 18）、筆記用具、懐中電灯等、ネームタグ
注意点	☐ 用紙は必ず回収してください。 ☐ ペットはケージに入れるかリードで繋ぎ、避難者自身もしくはその家族が給餌、排泄、健康状態について面倒を見ることを周知する。 ☐ 飼養場所で飼養できないペット（ケージに入っていないペット等）については、同伴避難用の避難室を確保し、ケージの手配を避難者自身にしてもらうことで同伴避難を検討する（適宜判断してください）。 ☐ 避難者カード（資料 12-3 の情報を資料 18 同行避難ペット一覧（資料 18）に転記する。

チェック



①

- ・避難者カードにペット情報の記載があることを確認し、ペットは避難所内で同伴避難（飼養）できない旨避難者に伝え了解を得てください。
- ・自宅と違い、避難所の飼養場所ではペットのストレスが溜まるので、スキンシップを行うように周知してください。

チェック



②

- ・飼養場所での飼養・給餌は避難者自ら行うことを説明してください。（健康管理、排便等の処理も避難者が行うように説明）。

チェック



③

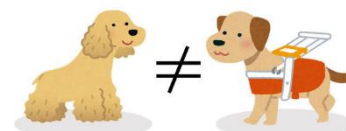
- ・ペットの種別・大きさ、ケージ・リードの有無を確認のうえ適切な飼養場所へ案内します。ネームタグを首輪に付けて飼い主の明示を行います。

チェック



④

- ・ここでの補助犬とは身体障害補助犬といい、障害を持った方の手足となる重要な存在で同伴避難を認めています。ペットについて避難者とトラブルにならないように、必要なら補助犬とペットの違いについて説明をしてください。



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

補助犬同伴避難者への対応（救護班）

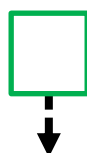


役 割	補助犬利用者には避難室提供を行ってください。 (避難所担当者には補助犬とペットの違いの認識を徹底のこと)
-----	---

使うもの	☐ 避難者カード（12-1、2）、避難者名簿、筆記用具、懐中電灯等
------	--

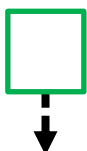
注意点	☐ 用紙は必ず回収してください。 ☐ 補助犬についてはリードで繋ぐ必要はなく、それに類するものが装着されています。 ☐ 補助犬であることの表示を確認すること。
-----	--

チェック



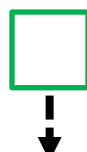
- ① 身体障害者補助犬は認定を受けた盲導犬・介助犬・聴導犬の3種類の総称（身体障害者補助犬法第2条）であり、犬種、認定番号、認定年月日等を記載した表示をつけています。確認をしてください。

チェック



- ② 【盲導犬】視覚障害者の安全で快適な歩行をサポートします。道路交通法第14条に定める犬であって、政令で定めるハーネス（胴輪）をつけています。
 【介助犬】肢体不自由者の日常生活動作のサポートをしてくれます。外から見てわかるように「介助犬」と書いた表示を付けています
 【聴導犬】聴覚障害者に音を聞き分けて教え、音源へ誘導します。また、「聴導犬」の表示をつけています。

チェック



- ③ 飼養・給餌は避難者自ら行うことが原則ですが、必要な場合は声をかけてもらうように案内してください。
 （健康管理、排便等の処理について同様に説明）。

チェック



- ④ 同伴避難の部屋が準備できているなら案内します。部屋の内部は当事者の行動の邪魔にならないように障害物を撤去もしくは壁際に寄せておくこと。

（表面）

〇 〇 犬	
認定番号	
認定年月日	
犬種	
認定を行った指定法人の名称	
指定法人の住所及び連絡先	

（第4条関係）
様式1号

（裏面）

身体障害者補助犬認定証（〇〇犬）	
写真（使用者）	写真（認定犬）
使用者名	認定番号
使用者の住所及び連絡先	認定年月日
犬の名前	指定法人名
犬種、毛色、毛質	指定法人の代表者名
狂犬病予防法に基づく登録番号	指定法人の住所及び連絡先
	訓練事業者名
	訓練事業者の代表者名
	訓練事業者の住所及び連絡先

（第9条関係）
様式3号

（裏面）

身体障害者補助犬健康管理手帳	
（身体障害者補助犬法第12条第2項で定めらるる書）	
補助犬使用開始年月日	
年	月 日

（第12条関係）
身体障害者補助犬
健康管理手帳

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

性的マイノリティへの対応

役 割	性的マイノリティの人は何げないことで傷つくことがあります。人としての尊厳を理解し、避難所のルールを守りながら、柔軟に対応できるようにしましょう。例として、トイレや更衣室の表示の方法や使用方法を検討して下さい。 あくまでも個人の特定は避けてください。
使うもの	□ 避難者カード（12-1、2、3、4）、避難者名簿その他、筆記用具、懐中電灯等
注意点	□ 用紙は必ず回収してください。 □ 相手のプライバシーを尊重してください。 □ また名簿等は、非公開にしてください（照会用避難者名簿の作成は任意です）。 □ 性的マイノリティに対して、偏見や差別を無くし、その人の個性として、多数派と異なる生き方を認める避難所運営を構築していく必要があります。 □ 個人の特定はしてはなりません。

チェック



- ① ・受付での性的マイノリティの申告を受ける必要はありません（※また、これについて避難者カードへの記載の必要もありません）。



チェック



- ②
- 受付時の注意**
- ・本人から自己申告を受ける可能性があるかもしれませんが、個人の特定を避けるため公言は差し控えてください（公表する場合は本人の承諾を得ること）。
 - 専用の更衣室・トイレを用意してください。**
 - ・トイレの使用方法については、男女のトイレは従来通りの区分として新たに両用トイレを指定もしくは設置して下さい。トイレの利用でのトラブルを避けるために必ず行ってください。
 - ・更衣室についても同様です。
- ※法的な性別に基づいて案内をしてください



チェック

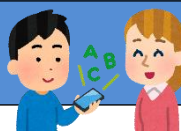


- ③ ・避難場所へ案内する時は、内容に触れず必要なことのみ説明し案内をしてください。



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

外国人避難者への対応



役 割	避難してきた外国人に翻訳機等を使用して適切に受け入れを行う
使うもの	☐ 多言語翻訳機、翻訳アプリ、コミュニケーションボード ☐ 避難者カード、避難者名簿その他、筆記用具、懐中電灯等
注意点	避難所で外国人の困ること ☐ 避難所内の生活ルール、行動ルールがわかりにくい。 ☐ 言葉の壁で情報が得られないため、周囲とも意思疎通が難しい。 ☐ 宗教や習慣の違いで誤解などが生じることがある。 ☐ 避難所から母国（家族など）に国際電話ができず連絡がとれない。

チェック



戸惑っていたら

- まずは積極的に日本語で声をかけましょう。
- ① （避難所は日本人向けの施設と思い込み、躊躇する外国人もいますので、外国人も日本人と同様に利用可能であることを示し、安心してもらうためにも、声かけを行ってください）

チェック



日本語があまり得意でない

- やさしい日本語で書く、ゆっくり話す
- 外国語ができる日本人、日本語ができる外国人に協力を求める
- ② 音声翻訳アプリ・翻訳機を使う（シンプルな日本語を使うと翻訳精度が上がります）
- 日本人独特の表現は外国人に伝わりにくいので、具体的にはっきりと伝える

日本語が出来る

- 避難所運営に協力可能か確認
- 可能な場合、通訳や伝達などを担当してもらい、外国人グループのリーダーになってもらう（※）
- 外国人は「災害時要配慮者」とされているが、在住外国人は地域の担い手として活躍しうる存在と日本人側も認識しておくことが重要

チェック



- ③ ・宗教やアレルギーなどによる配慮が必要か確認しましょう

チェック



- 食べられないものがあるか
- お祈りするスペースの設置を希望するか
- ④ （宗教的由来の例：イスラム教徒は、豚由来やアルコールを含む原材料の飲食及び商品を使用できません）

チェック



- ⑤ ・避難場所へ案内する時は、必要なことを、はっきり短く説明し案内する。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

避難所物資の配布（食料・物資班）

役 割	避難者カードの記入が終った避難者を避難者の該当エリアに誘導し、配布物資を各世帯人数分配布する（簡易ベッドが不足している場合は、要配慮者に簡易ベッドを優先的に割当てる事が望ましい）。
使うもの	☐ エリア区分セット（懐中電灯、配置計画書、筆記用具等） ☐ 机×必要数（体育館に備え付けられていれば） ☐ 配布物資（毛布、寝袋、マスク等）
注意点	☐ 物資（毛布、寝袋、マスク等）が不足の場合、市災害対策本部へ早急に物資の供給を「食料・物資依頼伝票」により依頼してください。 ☐ 車中避難者にも必要なら同様に配布を行うこと。
配 慮	☐ 物資の配布と同時に飲料水も各自に配布すること。不足の場合は市災害対策本部へ供給を依頼してください。 ☐ 食料については当初の受け入れ時の配布は混乱を招くため、定時の配給としましょう。ただし、補助栄養食（備蓄があれば）についてはこの限りではありません

チェック



- ① 各避難世帯、避難者に必要な物資を配布する。避難ルームが不足している場合は、女性、乳幼児、小学生以下の子どもがいる世帯に優先的に居住案内、配布を行うこと。

チェック



- ② 地区福祉避難所への避難者、福祉避難室への避難者にも同様に配布する



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

食料・物資の配給（避難所外避難者への配給）

役 割	☐ 避難所へ避難していない、避難所外避難者へも同様に食料・飲料水や物資の配給サービス等を行います。
-----	--

使うもの	☐ 食料、物資管理簿（避難所開設・運営マニュアル参照）、避難所外避難者物資提供受付表（資料18） ☐ 受付に混乱を来さない様に別途受付テント等を設置し対応を行う。
------	--

注意点	☐ 食料や物資等は、数量が不足する場合があるため、状況を見ながら適切に配給するようにしてください。 ☐ 避難所外避難者への食糧・物資提供は拒まないでください。
-----	--

チェック



①

- ・自宅が被災したが、なんらかの理由により避難所へ避難していない（出来ない）避難者が避難所へ食料・物資等の配給を受けに来た場合、避難所外避難者物資提供受付表に記入を依頼してもらい（被災者の総数なるべく把握するため）、余裕があれば配給を行い、無い場合は市災害対策本部へ追加要望をし避難者と同様のサービスを行います。
- ・配給の方法は、避難所へ取りに来ることが前提で、避難所の定時の配給時間もしくは別途掲示を行うことを周知します。

チェック



②

- ・要望したものが届かない場合は、品目により配給方法と配布数量等を決定します。
- ・数量は避難所の避難者数に避難所外避難者物資提供受付表に記載された避難者数を加えた数となり、市災害対策本部へ食料・物資依頼伝票（緊急の場合は口頭）により行います。

チェック



③

- ・決定した配給方法、品目、時刻、配給場所等については、避難所で決められた時間もしくは情報掲示板で周知します（避難所外避難者への連絡は直接本人宛に行わない旨を伝えること）。

チェック



④

- ・食料、飲料水などの生活物資を避難所外避難者にも配給する場合、避難所外避難者の配給数は受付表の人数以上に増えることが予想されるため対応を検討しておきましょう。



- 避難所外避難者の世帯、人数の把握が出来るように、情報の協力を呼びかける。
- 避難所外避難者物資提供受付表は市災害対策本部へ報告時に写し等を適宜送付し情報の共有をすること。

➡ 避難所外避難者も避難している場所が違っただけで避難者に変わりはありません。避難所の避難者と同様のサービスを行ってください。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

避難者（被災者）への情報伝達

役 割	☐ 避難者および地域の被災者への情報伝達を行います。 ☐ 多様な外国人に対して、多言語での情報発信を行います。 ※ 地域への情報伝達は市災害対策本部へ依頼します。
-----	---

使うもの	☐ 情報伝達セット（ホワイトボード、紙、マーカー等） ☐ 多言語翻訳機（なければアプリ等の活用）
------	---

注意点	☐ 掲示板による情報伝達を基本として、確実に公平な情報伝達に努めます。 ☐ 外国人に対しても多言語で同様に行います。 ☐ 日本語は外国人にわかりにくいいため、掲示文はわかりやすく短文で行います。例「土足厳禁」⇒「靴を脱いでください」「no shoes allowed」、「禁止穿鞋入内」、「ご自由にお持ちください」⇒「一人1個です」「one per person」「每人只限一份」
-----	---

チェック



- ① 事前に決定した情報掲示板設置場所に、掲示板が設置可能か確認します。掲示板は玄関付近や体育館ならステージ付近等で避難者の目につきやすい場所が最適です。

設置できる場合

設置できない場合

チェック



- ②-1 ホワイトボード等を用いて、掲示板を設けます。

- ②-2 他の設置可能な場所に設けます。既存の掲示板が利用できる場合、活用します。

チェック



- ③ ホワイトボードもしくは模造紙に掲示したい情報を書き込み掲示します。
掲示の際は項目別に掲示板を区分けします。
外国人に対しては、避難している国籍ごとに日本語が出来る外国人に協力を求めることを検討しましょう。出来ない場合は翻訳アプリもしくは多言語翻訳機を活用してください

チェック



- ④ 掲示を行ったことを拡声器等で周知又は掲示時間を決めて行います。聴覚障害者等には直接伝えます。
この場合も③同様に行いましょう。



●身体障害者には個別の配慮を

-
- ・聴覚に障害のある方は、見た目で分かりにくく、配慮が行き届かなかったことも報告されています。障害者に対しては、個別の対応や配慮が必要です。
 - ・視覚障害の方は、情報事態が目に入らないため、介護者にも情報を伝えることが大切です。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

その他留意すべきこと

- 避難所のお仕事は多岐にわたります。朝夕に各班で情報共有を行い対処していくことが大切です。
- 避難者を受け入れた後は、避難者名簿を作成し避難者数の把握を行い、必要数量を市災害対策本部へ食料・物資を要請し調達を行います。避難者へ配布、施設の機能点検についても通常の範囲内で行う必要があります。
- 衛生状態を保つためトイレは特に重要です。短期の避難所開設であってもトイレが使用できない場合は市災害対策本部に早急に仮設トイレ設置の要望を行ってください。
- ゴミについては避難者自ら適切に分別を行うことを徹底。
- 傷病者、要配慮者等について生活支援を適切に行う必要があるため、班をまたがって適切に配慮した支援を行いましょう。また、医療関係者・専門相談員等の支援人材の派遣、福祉用具等の物資・資機材の提供を市災害対策本部へ要請してください。
- 避難所外避難者への物資提供について適切な配慮を行ってください。



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

トイレの確保（保健衛生班）

役 割	既設トイレの状況確認、使用禁止の周知、簡易トイレの設置を行います。
-----	-----------------------------------

使うもの	☐ 簡易トイレ（ビニール袋、凝固剤、ゴミ袋、バケツ等）
------	--

注意点	☐ 既設トイレが使用できない場合や状況が不明な場合は、早急に使用禁止を周知します。
-----	--

チェック

☐

- ① 避難所内のトイレが使用できるよう、避難所開設・運営マニュアルの「トイレの応急対策方法」を参考に早急に対応します。

チェック

☐

- ② 手洗い場を確保します。手洗い用の水が確保できない場合は、消毒液等で代用してください。

チェック

☐

- ③ トイレ使用のルールを情報掲示板及びトイレの入り口で周知します。

	○ 給排水の配管の状況を確認できる人材がいるか避難者に呼びかける
	▶ 地域で事前に人材を登録しておくことも必要。
	○ 洋式トイレは、介助が必要な方を優先
	▶ 洋式トイレは、高齢者、障害者等の配慮が必要な方が優先して使用できるように徹底します。
	○ トイレのルールを決める（事前に決めておいても良いが状況に応じて）
	▶ トイレを確保したら、ルールを決めて衛生的に使用できるよう、周知を徹底します。
	○ 避難所開設当初の対応
	▶ 地震の場合、浄化槽や下水配管や給水管の破損状況が不明なため、避難所開設当初は水洗トイレの使用を禁止し、避難者へ周知徹底します。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

災害対策本部との連絡（総務班）

役 割	☐ 災害対策本部、支部との定期的な連絡を行います。
使うもの	☐ 避難所状況報告概要（資料 3）、避難所データ集計報告（資料 3-1）
注意点	☐ 通信手段が途絶している場合は、連絡員が徒歩や自転車等の移動手段で災害対策本部もしくは支部に向かいます。この場合は、連絡員の安全確保を最優先とします。

●避難所開設の第一報からしばらくの間の報告（時間目安：発災後 24 時間頃まで）

チェック

☐

①

通信手段を確保したら、避難所状況報告概要（資料 3）を使って第 1 報からしばらくの間の報告を災害対策本部・支部へ行います（報告頻度は 1～2 時間おきに行ってください。）。FAX がなければ口頭で報告。
避難所データ集計報告（資料 3-1）は避難所及び避難所の詳細なチェックを行うものです。当日の避難所状況をまとめとして記入・報告してください

避難所運営に関する担当機関の連絡先

災害対策本部・支部	災害対策本部 （赤磐市役所本庁） 担当課：くらし安全課	災害時：086-955-1111 平 時：086-955-2650 FAX：086-955-1353
	災害対策支部（各支所）	赤坂、熊山、吉井の各支所
連絡先一覧		P-160 参照

●リーダーの活動を補佐

チェック

☐

① 各班の受付・案内作業の進行状況を把握します。

チェック

☐

② リーダーは定期的に市災害対策本部へ状況報告を行います。

チェック

☐

③ リーダーの指示事項を各班に伝達します。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

3 避難所の運営

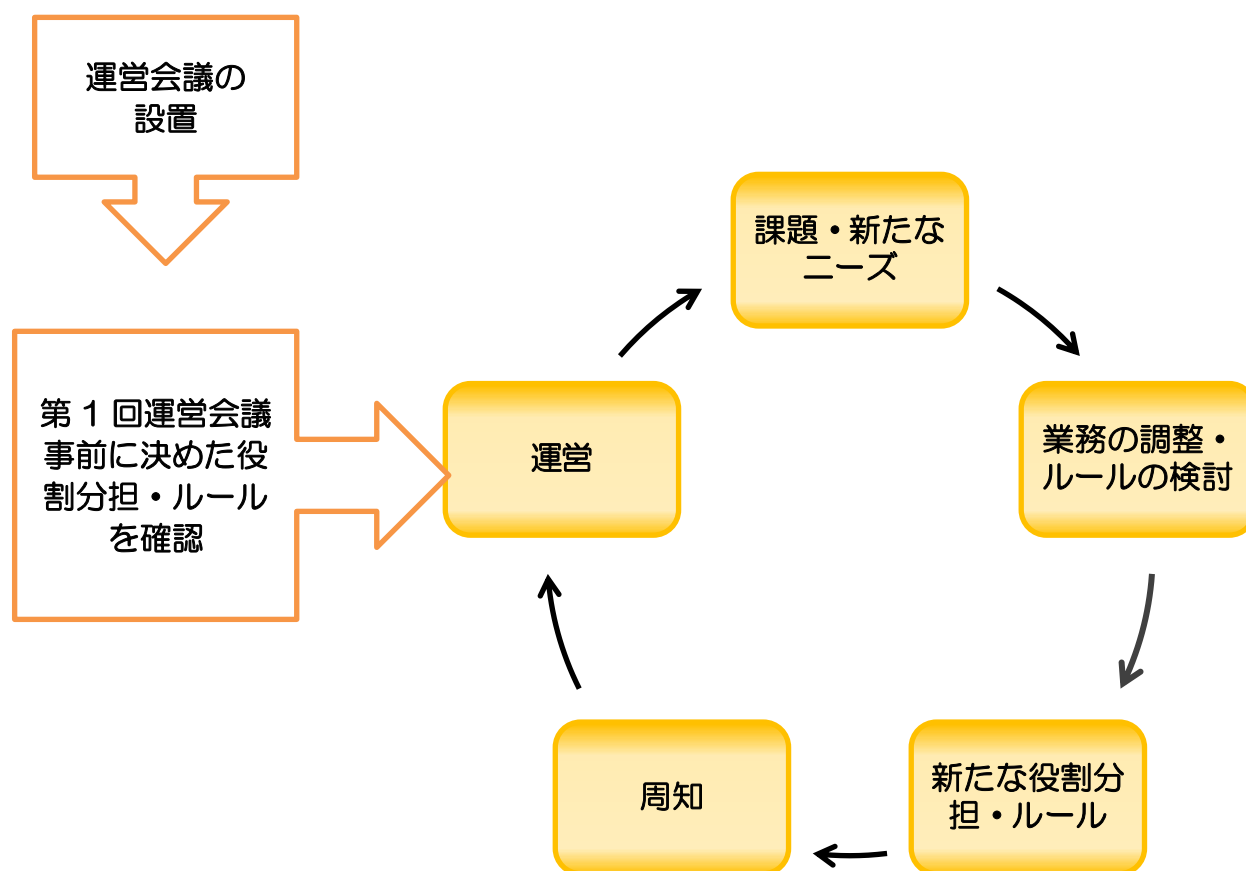
(避難所開設からおおむね7日目以降の例)

避難所での生活が始まると、避難者からのさまざまな要望に対応し、生活環境を改善していくために多くの活動を行う必要があります。一例として、これらの活動を避難者も含めて協力していくために、「班」を設置して役割を分担します。

また、班が行う活動の調整や意思決定を行う「避難所運営会議」を設置します。

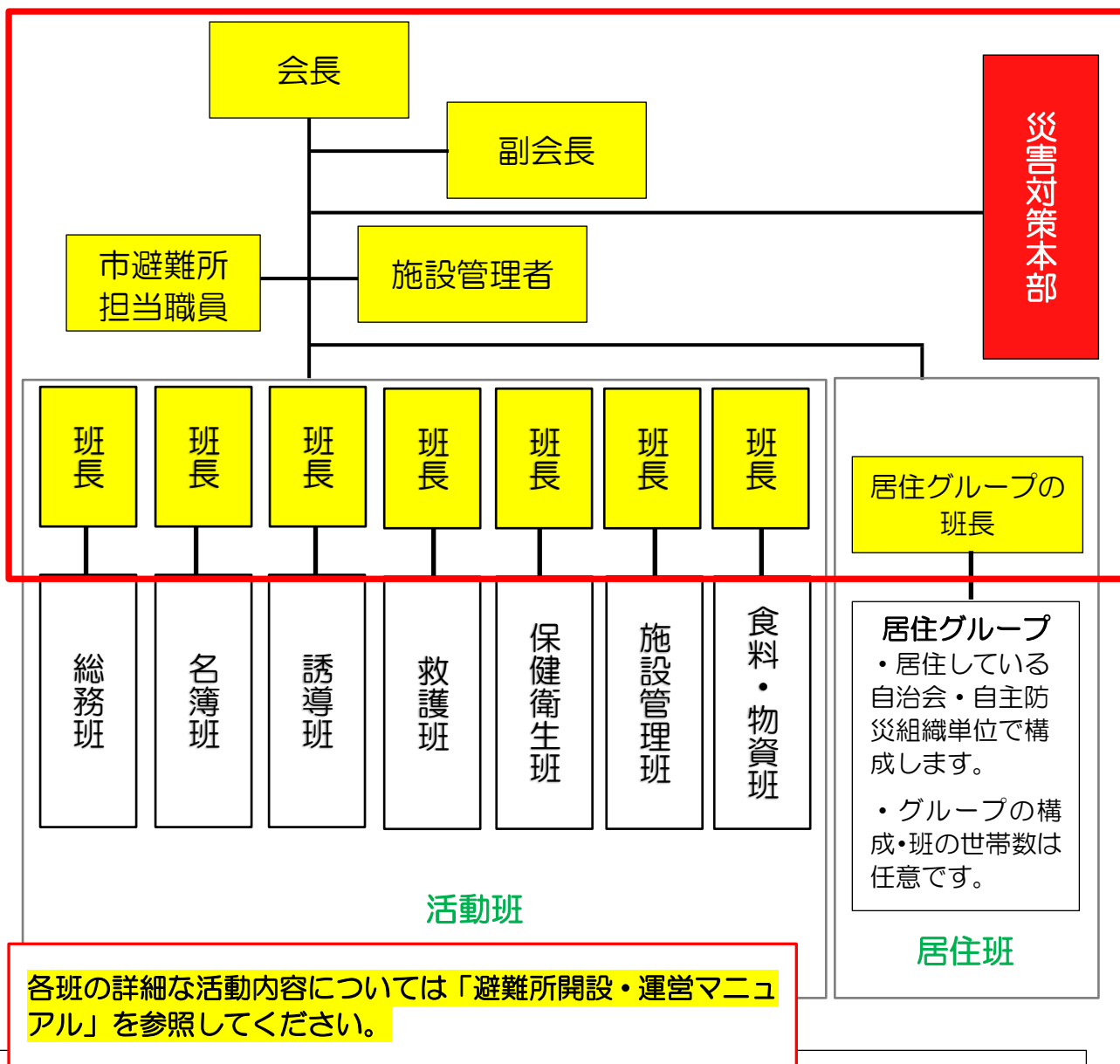
※運営本部会議の参加者として、市避難所担当職員や施設管理者も参加します。

●避難所運営会議の流れ



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

【避難所の運営体制図】（例）



【避難所運営会議の設置】

- ☐ 避難所運営会議は、何もなくとも1日朝夕2回開催しましょう。
（情報交換を行うことで、避難者のニーズの多様化に対応するため）
- ☐ 会議は、【避難所の運営体制図】で黄色に塗られているメンバーで構成します。

※避難所運営会議の構成メンバーは、長期避難が必要となった避難者（おおむね7日目以降に滞在している避難者）の相互の話し合いをもって決めましょう。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

3-1 避難所の環境

共有のものに触れる前後には、手洗い・アルコール消毒をしましょう

アルコール消毒の置き場所

- ▶ 受付
- ▶ ①、②、③の各部屋及びまたは避難所の出入口
- ▶ 階段の上り口
- ▶ トイレの出入り口
- ▶ ゴミ箱周辺等



換気の時間や回数の目安

- ▶ スペースの前後左右の扉や窓を開けて、空気が通るようにする。
- ▶ 窓を開け、窓の方向に扇風機やサーキュレーターを向け空気を循環させる。
- ▶ 1 時間に 1 回、10 分程度など時間を決めて行う。



食事の配り方の手順と注意点

- ▶ 食品は床から 10 cm 以上の高さで保管する。
- ▶ 作業台や配膳箱（配布用の入れ物）などは準備の前後にアルコール等で消毒する。
- ▶ 一人分ずつ小分けにする（個包装になっているものが望ましい）。作業は、手洗い・アルコール消毒をし、マスクと使い捨て手袋を着用してからとりかかる。
- ▶ 食べ物は、消毒した配膳箱など（かご、コンテナなどのプラスチック製、新しいビニール袋など）に入れ、居住スペースや部屋ごとに所定の場所に置く。
※段ボールは消毒困難で害虫も発生しやすいためなるべく使用しない。
- ▶ 各自が順番にとりにいく（混み合わないよう注意）。
- ▶ 食事の前は必ず手洗い・アルコール消毒をする。
- ▶ 食べ終わったゴミや残飯は、避難者自身が分別してゴミ袋などに入れ、ゴミ集積所へ持っていく。
- ▶ 食事や食器を運ぶ担当者はなるべく固定にする。

（共有のものに触れる前と触れた後には、手洗い・アルコール消毒をしましょう）

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

生活スペースの掃除のポイント

※掃除は避難者による掃除を基本としましょう。

▶おむつ交換スペースは、基本的に使用の度に清掃する。

▶トイレは、毎日掃除をする。

※水を流す時はふたを閉めてしぶきをあげないようにする。

※簡易トイレの場合は、使用した人が汚物を回収する。

※トイレに下痢の跡などが見られた場合は、体調不良の可能性があるので、すみやかに掃除すると共に、排せつした個人の健康を守るため、当該者が特定できるよう注意して見守る。

▶人々がよく触る場所（ドアノブ、電源スイッチ、テーブル、洗面台、蛇口など）を定期的にアルコール等で拭く。



▶自分の居住スペースは 1 日 1 回、アルコール等でペーパータオルを用い拭き掃除する。

▶段ボールベッドや毛布、布団などの寝具は使用者が変わる度に廃棄または洗濯・消毒する（段ボールベッド等の寝具、その他の生活用品の使いまわしは避け、新しい寝具等の補充があれば利用者退所の都度に処分する。不足する場合は、洗濯や消毒を行う。特に感染が疑われる利用者が使った不要品は、ゴミ袋で密閉し、すみやかにゴミ集積場へ運ぶ）。

ゴミの取り扱い

▶ゴミ箱は必ず袋をかぶせて使用し、袋から溢れないようにする。

▶ゴミ箱は蓋を触らずに捨てられる足踏み式があるとよい。

▶自分専用の小さいゴミ袋を持てもらう。

▶生ごみなどは、小さいビニール袋に入れてきちんと口を縛ったうえでゴミ箱に入れる。

▶指定された場所に毎日ゴミを出すように指導をする。



洗濯物の対応

▶汚物でひどく汚れたものはゴミ袋等に入れ、密閉して廃棄処分する

▶その他の場合は、通常の水・洗剤を使用し、洗濯機や手洗いで対処する。



事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

避難所の環境を保つ

避難所の運営は、あらゆる場面で人不足になります。そういった場合、避難者に協力依頼し「手洗い・マスク着用」などの感染予防を取ったうえで、「避難所開設・運営マニュアル」に沿いながら避難所運営に協力をしてもらいます。

避難所運営に協力してもらう場合の共通の注意事項

- | | |
|--|--|
| 作業前 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 手洗い・アルコール消毒をする ▶ 感染予防（マスク、使い捨て手袋、（必要な場所では、ガウン、フェイスシールドを着用）） |
|  | |
| 作 業 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ アルコールを噴霧し、ペーパータオルでドアノブ・鍵・洗浄レバー、手洗い場（蛇口、洗面台）を拭く ▶ ゴミの処理 ▶ 消毒液やトイレットペーパー等の補充 ▶ 換気を行う場合は、事前に声掛けを行う ▶ 窓と出入り口を開ける（扇風機かサーキュレーター使用すると効果的） ▶ 10分をめどに行う ▶ 玄関・廊下等の拭き掃除 |
|  | |
| 作業後 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 脱いだマスク、使い捨て手袋、感染予防着をゴミ袋に入れて口を縛る。 ▶ 手洗い・アルコール消毒をする。 |

共用場所の掃除のポイント

不特定多数の人が触る場所は、1時間に1回程度を目安に、アルコールで拭きましょう。

事前準備	開設準備	開 設	運 営	撤 収
------	------	-----	-----	-----

4 避難所閉鎖

閉鎖時の対応

- ▶避難者の退去後は施設管理者と協議のうえ、施設及び室内の清掃、原状復帰を行います。
- ▶清掃・消毒時は、アルコール等で避難所運営時の清掃場所等を隅々まで行い、十分な換気を行います。
- ▶清掃・消毒の際は、使い捨てゴム手袋、マスク、飛沫感染予防の防護具（フェイスシールド又はゴーグル）、ガウンを状況に応じて着用しましょう。

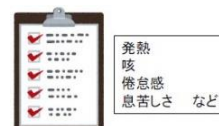


最後まで感染予防対策を怠らないようにしてください。

資 料

避難所の開設手順に対応した資料のみ

健康チェックリスト（受付時に記入してください）



※居住区分案内係に提出してください

入居時のゾーニングに関するチェック項目

↓ここは記入しないでください

受付日時： 年 月 日 午前・午後 時 分	一般避難所エリア・①・②・③・ 福祉避難所エリア・車中避難
整理番号： （個人整理番号： ）	体温 ℃
氏 名	年齢 才

体調不良に関する項目

1	発熱や咳などありますか？	はい・いいえ
2	息苦しさ、咳や痰、のどの痛みはありますか？	はい・いいえ
3	においや味を感じにくいですか？	はい・いいえ
4	強いだるさがありますか？	はい・いいえ
5	嘔吐や吐き気がありますか？	はい・いいえ
6	下痢が続いていますか？	はい・いいえ
7	感染したかも知れないと心配になる症状はありますか？	はい・いいえ
8	インフルエンザと診断され治療中ですか？	はい・いいえ

持病や要配慮に関する項目

1	介護や介助が必要ですか？	はい・いいえ
2	障がいがありますか？	はい・いいえ
3	乳幼児がいますか？（妊娠中も含む）	はい・いいえ
4	呼吸器疾患、糖尿病、その他の持病はありますか？	はい・いいえ
5	この他に、心の面も含めて気になる体調の変化はありますか？	はい・いいえ

この問診表は避難者カード（資料12）と共に整理してください。

※必ずしも確定ではなく目安です、疑わしい場合は暫定的に専用の部屋へ案内し、医師の診断を受けれるように市災害対策本部へ要請を行ってください。

個人整理番号No

避難者健康チェックシート

フリガナ		年齢		★記入翌日に避難所担当者に提示してください、確認を行います。					
氏 名		才		(避難所名：)					
項目	体温測定		/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	
		朝 ℃	朝 ℃	朝 ℃	朝 ℃	朝 ℃	朝 ℃	朝 ℃	
		タ ℃	タ ℃	タ ℃	タ ℃	タ ℃	タ ℃	タ ℃	
息苦しさ	ひとつでも該当すれば「はい」に○ ・息が荒くなった（呼吸数が多くなった） ・急に息苦しくなった ・少し動くと息が上がる ・胸の痛みがある ・横になれない ・肩で息をしたり、ゼーゼーする	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	
におい・味	においや味を感じない	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	
せき・たん	せきやたんがひどい	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	
だるさ	全身のだるさがある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	
吐き気	吐き気がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	
下痢	下痢がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	
その他	その他の症状がある ・食欲がない ・鼻水・鼻づまり・のどの痛み ・頭痛・関節痛や筋肉痛 ・一日中気分がすぐれない ・からだにぶつぶつ（発疹）が出ている ・目が赤く、目やにが多い など	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	
担当者確認欄									

※避難者ご自身で毎日検温等のチェックを行ってください。「はい」に○がある場合は避難所担当職員まで申し出てください。

★記入翌日に避難所担当者に提示してください、確認を行います。

避難者受付簿

記入後は資料12-1(避難者カード)と必要なら12-2、12-3、12-4を渡してください

避難所名

受付番号	入所日	入所時刻	代表者氏名	人数	住所	備考
例 1	4/4	13 : 30	赤磐 太郎	4	下市 3 4 4	
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						

避難者が多数の場合は受付での混乱を防ぐため、1 日目は避難者受付簿 No1-1、No1-2、2 日目は No2-1、No2-2 のように通し番号をあらかじめ記入し、複数枚で対応を行うこと。

避難者受付簿

ペット同行避難受付用

記入後は資料12-1(避難者カード)と必要なら12-2、12-3、12-4を渡してください

避難所名

[illegible]

避難者（ペット同行避難）が多数の場合は受付での混乱を防ぐため、1 日目は避難者受付簿 No1-1、No1-2、2 日目は No2-1、No2-2 のように通し番号をあらかじめ記入し、複数枚で対応を行うこと。

避難所名：

記入日：

年 月 日

整理 番号	担当が記入します			避難形態 担当が記入	避難所・テント・車中・同伴 居住区分：一般・福・1・2・3			
住所	〒 携帯電話： - - 自宅電話： - -							
世帯 構成	名前（ふりがな）		体温	続柄	性別	年齢	血液型	その他配慮すること
	番号	ふりがな	℃		男・女	才		
	番号	ふりがな	℃		男・女	才		
	番号	ふりがな	℃		男・女	才		
	番号	ふりがな	℃		男・女	才		
	番号	ふりがな	℃		男・女	才		
配慮が必要な場合記入してください								
家屋の被害状況		被害なし・全壊・半壊・一部損壊・その他（ 断水・停電・ガス停止・電話不通						
安否確認のための情報開示希望（同意）		希望する・希望しない						
緊急連絡先 家族以外		名前：				自宅電話：		
		住所：				携帯電話：		
車両・ペット・補助犬 資料 12-2,3、に記載		避難車両	有・無			ペット 補助犬	有・無	

今後記載に内容に変更があった場合は、その都度申し出てください。※避難所へ来た人のみ書いてください。

避難所運営委員会記載欄

退所年月日	年 月 日
転出先 □自宅 □その他 →	〒 住所： 電話番号
特記事項：	

※ 避難者名簿、要配慮者等の名簿
照会用避難者名簿への転記を忘れずに。

※ 体温の測定・記入は任意です。

避難者カード（車両用）

避難者カード：代表者名	整理番号 No ※ 担当が記入します
-------------	-----------------------

車、バイクでの避難者について下記の項目について記入してください			
No	車両番号	車種・色	備考
備考			

資料12-3 避難者カード（ペット用）

同行避難ペット登録票

		入所日	年	月	日
		退所日	年	月	日
整理番号：					
		登録番号			
飼い主の情報		氏 名			
		避 難 前 住 所			
		連 絡 先			
		避 難 場 所			
ペ ツ ト の 情 報	名 前				
	種 別	犬・猫・その他（ ）			
	種 類				
	毛 色				
	年 齢	歳 ※不明な場合は推定年齢			
	性 別	オス ・ メス			
	不妊去勢	済 ・ 未			
	混合ワクチン	接種済み ・ 未接種			
	登録の有無	有 ・ 無			
	狂犬病予防注射	済 ・ 未			
	マイクロチップ	あり（ ） ・ なし			
飼 養 場 所 担当者記入					

※資料12-4 ケージ札へ必要事項を記入した後、飼い主に渡してケージに貼るように依頼してください。

ペット同行避難者への案内として、以下のことを伝えてください。

- ペットは避難所内へ持ち込みは出来ません。

- ケージは持参されていますか。

- ケージがない場合：ペットの同伴避難場所の確保が出来てからの案内です



「ケージ等ペットを確保できる用具がなければケージ等の確保出来るまで一時的に同伴避難場所での避難を可とします（ただし、リード等の装着が条件です）。同伴避難場所は補助犬と別場所とします。ケージの確保が出来たらペットは指定の飼養場所に移動していただきます。」

- ペットはケージに入れるかリードを繋いで、指定された場所で飼養となります。飼い主が責任を持って飼養してください。



- 補助犬は別室での同伴避難となります。身体障害者補助犬法第2条に定められた表示を確認します。



- ペットには「ケージ札」を渡しますので、剥がれないようにケージに貼ってください。



- 餌は持ち込みされたもので対応をお願いします。

- その他、ペットのことで不安になったら相談してください。

表面

ペット表示

控

避難所名	
登録番号	
ペットの名称	
飼い主氏名	
特記事項 (飼養場所)	

注意事項は裏面

-----キリトリ線-----

貼付用

ペット表示

避難所名	
登録番号	
ペットの名称	
飼い主氏名	
特記事項	

この「ペット表示」をペットのケージ等に剥がれないように貼ってください

裏面

ペット同行避難の注意事項

- ケージは持参されていますか。
- ペットは避難所内へ持ち込みは出来ません。
- ケージに入れるか、もしくはリードを繋いで、指定された場所で飼い主が責任を持って飼養してください。
- 「ペット表示」を渡しますので、剥がれないようにケージ等に貼ってください。
- 餌はご自身でご結ください。
- その他、ペットのことで不安になられたら相談してください。

避難所運営委員会

資料13 避難者名簿

避難者名簿

避難所名：

No. _____

No	公開 可 不可	個人 整理番号	ふりがな 氏 名	年 齢	性別	住 所	現在の状況 必要とする支援	入所 年月日	退所 年月日
例 1	可	1-1-1-1	あかいわ たろう 赤磐 太郎	38 才	♂ 男 ♀ 女	下市 344	特になし	4/4	
1				才	男 女				
2				才	男 女				
3				才	男 女				
4				才	男 女				
5				才	男 女				
6				才	男 女				
7				才	男 女				
8				才	男 女				
9				才	男 女				
10				才	男 女				

※1 用紙が足りないときは複写して使用してください。

※2 避難者の一括管理を行うために使用します。

資料13-1 避難者名簿（車中避難者）

避難者名簿（車中避難者）

避難所名：

No.

No	公開 可 不可	個人 整理番号	ふりがな 氏 名	年 齢	性別	住 所	現在の状況 必要とする支援	入所 年月日	退所 年月日
例1	可	2-1-8-1	やまだ たろう 山田 太郎	48 才	Ⓐ男 女	西中 OO-O	アレルギー のどの痛みあり	4/5	
1				才	男 女				
2				才	男 女				
3				才	男 女				
4				才	男 女				
5				才	男 女				
6				才	男 女				
7				才	男 女				
8				才	男 女				
9				才	男 女				
10				才	男 女				

※1 用紙が足りないときは複写して使用してください。

※2 避難者の一括管理を行うために使用します。

資料 1 4 避難所における要配慮者等の名簿

避難所における要配慮者等の名簿

年 月 日

避難所名.

作成年月日		年 月 日				
個人 整理番号	(ふりがな) 氏名	性別	年齢	本人の状況	必要な介助	対応
例 1-1-2-1	ちたま くまお	男	85	介護 1、認知 症、つえ歩行	家族の見守り 声掛け	避難所内で の対応
	地球 熊男	女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				
		男				
		女				

※福祉避難所への移送が必要な場合は、市災害対策本部へ報告してください。

照会用避難者名簿

避難所名

年 月 日分

個人 整理番号	ふりがな 氏 名	性別	年齢	住所	照会日	照会者
例 1-1-1-1	あかいわ たろう 赤磐 太郎	38 才	①男 女	下市 344	4 月 6 日	岡山桃太郎
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			
		才	男 女			

※避難者名簿は個人情報です。避難者の照会については相手方の名前を聞き取りしてください

資料15-1 車中避難者登録用紙

※記入後は受付まで持参ください。

避難所名	
住所	
入所日	年 月 日
退所日	年 月 日

避難している車の情報

メーカー名	
車名	
色	
ナンバー	

移動される場合は、受付までその旨伝えてください。

	氏名	性別	年齢	避難にあたっての 配慮の必要性 ※1	健康状態 ※2	体温
1		男 ・ 女	歳	必要 ・ 不要 ↳ ()	有 ・ 無 ↳ ()	℃
2		男 ・ 女	歳	必要 ・ 不要 ↳ ()	有 ・ 無 ↳ ()	℃
3		男 ・ 女	歳	必要 ・ 不要 ↳ ()	有 ・ 無 ↳ ()	℃
4		男 ・ 女	歳	必要 ・ 不要 ↳ ()	有 ・ 無 ↳ ()	℃
5		男 ・ 女	歳	必要 ・ 不要 ↳ ()	有 ・ 無 ↳ ()	℃

※1 配慮が必要な場合は「必要」に○印を、その内容をカッコ内に記入してください。

【呼吸器疾患・糖尿病・高血圧、服薬、要介護、心身障がい、妊産婦、アレルギーなど】

※2 体調が悪くなれば直ちに申し出てください。

資料１６ 避難者傷病リスト

避難者傷病リスト

No

避難所名

番号	対処日	個人整理 番号	ふりがな 氏名	年齢 (歳)	性別	傷病名 (わかれば)	どのような症状もしくは傷の程度か	措置内容	備 考
例 1	4/5	1-1-4-3	ちかだ たろう 近田 太郎	55	男 女	ねんざの疑 い	避難中に左足首をひねった 歩行困難	・救急車依頼	病院でねんざの処置 を行う
1					男 女				
2					男 女				
3					男 女				
4					男 女				
5					男 女				
6					男 女				
7					男 女				

※傷病者が確認されれば市災害対策本部へ連絡し、必要なら救急車の要請を行ってください。

資料 1 7 避難者車両一覧

避難者車両一覧

No

避難所名								
受付 番号	入所 日	退所 日	登録番号	車種・塗装色	整理番号	使用者	使用者避難場所	備 考
例 1	4/4		岡山 330 ろ 12-34	ニッサン セレナ 白黒2色	1-1-1	赤磐 太郎	体育館	

資料18 同行避難ペット一覧

No

同行避難ペット一覧

避難所名

受付 番号	入所 日	退所 日	飼い主氏名 登録番号	(ふりがな) ペット名	ペット種類 (犬・猫・その他)	性別	毛色 大きさ	ペットの避難場所 飼い主の避難場所	備 考
例 1	4/4		赤磐 太郎 1-1001	(くっきー) クッキー	ボーダーコリー (犬・猫・その他)	メス	白黒 中型犬	グラウンドテント内	おとなしい
				()	(犬・猫・その他)				
				()	(犬・猫・その他)				
				()	(犬・猫・その他)				
				()	(犬・猫・その他)				
				()	(犬・猫・その他)				
				()	(犬・猫・その他)				
				()	(犬・猫・その他)				
				()	(犬・猫・その他)				

補助犬利用者避難者一覧

避難所名

受付 番号	入所 日	退所 日	(ふりがな) 利用者氏名	(ふりがな) 補助犬名	補助犬種類 (盲導犬・介助犬・聴導犬)	性別	毛色 大きさ	介助者名	備 考
1					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
2					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
3					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
4					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
5					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
6					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
7					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
8					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				
9					(盲導犬・介助犬・聴導犬)				

避難所外避難者物資配布希望受付一覧

避難所名

受付日 年 月 日

No	氏名 (世帯主) ※2	同居 人数	住所	連絡先 ※3	ライフライン（被害がある場合、丸印を付ける）※4	食料・物資 の配布	備考
					電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
					電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
					電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
					電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
					電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
					電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
					電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	
					電気・水道・ガス・電話・ その他（ ）	希望する 希望しない	

※1 この一覧は市災害対策本部と共有を行うため、避難者名簿等の報告時に添付してください。

※2 在宅避難している被災住民が避難所へ直接食料・物資の提供、その他サービスの要望の問い合わせがあった場合について記入を依頼する。

※3 必要な情報は避難所内の掲示板に掲示するので直接連絡はしない旨伝えてください。直接食料等を取りに来ることを了承してもらいます。

※4 ライフラインについてわかる範囲でチェックしてもらってください（被害の把握のため）。

受付表示 表示例



受付表示は表示例です。
避難所の受付内容に応じて、修正、変更等を行ってください。

① 避難者受付

- 避難者受付簿に記入をお願いします。

- 避難された家族単位で記入してください。

- 体調不良の方は申し出てください。検温を行います。

- 避難者カード、健康チェックリスト（体調不良の方のみ）をお渡ししますので②で記入してください。



※車中避難をご希望の方も避難者受付をお願いします。

「車中避難登録用紙」をお渡ししますので、必要事項を記入し提出してください。



②記載台（記入受付）

・避難者カード、（車両用・ペット）、その他必要書類、健康

チェックリスト（申告された方のみ）に必要事項を記入

していただく。



③ 居住区分案内受付

- ・避難者カード、(車両用・ペット)、その他必要書類、健康チェックリスト等を回収します。



- ・居住エリアを案内しますので指示に従ってください。

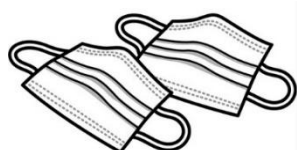
受付の流れ

①避難者受付（検温受付）

アルコール消毒をお願いします。マスクが必要な方には配布を行います。

「**避難者受付簿**に記入をお願いします。家族単位で記入してください」

「体調不良の方は申し出てください。検温を行います。」体温のメモと整理番号を記入した避難者カード（車両用、ペット）、健康チェックリストをお渡しします。**②受付で記入**をお願いします。



②記入受付

「**避難者カード**（避難所へ来た人）に避難された方の氏名・住所等必要事項をお書きください。」

「車で避難された方、ペット同行の方は**避難者カード（車両用、ペット）**、に必要事項をお書きください。」

健康チェックリストは体調不良を申告された方にお渡ししていますので記入をお願いします。

ここで記入した避難者カード等を**③居住区分案内受付**へお持ちになってください。



③居住区分案内受付

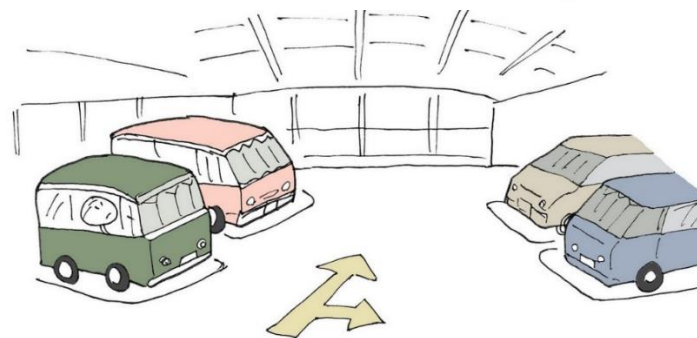
避難者カード（避難所へ来た人）、（車両・ペット）、健康チェックリストを回収し、ご自身（ご家族）の居住区分を確定したのち、**各居住エリアにご案内します**。ペットは指定された飼養場所で飼養していただきます。補助犬利用者の方は同伴避難は可です。ご協力をお願いします。

避難者健康チェックシート（①で申告のあった方）をお渡ししますので、各自毎日朝夕検温と健康チェックをお願いします。

各居住エリアでは



をお願いします



※車中避難の方へ

必ず避難者受付をお願いします。駐車位置を指定しますのでご協力よろしくお願いします。

避難された方へ

★感染予防のため、消毒アルコール
で手指消毒をお願いします。



★マスクが必要な方はマスクの配布を
行いますので申し出て下さい。



避難所開設運営手順書
避難所開設・運用マニュアル準拠

令和2年5月
令和2年8月11日改定
令和2年8月18日改定
令和3年8月13日改定
令和4年7月4日改定
令和6年3月22日改定

赤磐市
担当課：くらし安全課
住 所：〒709-0898 岡山県赤磐市下市 344
電 話：086-955-1111（代表）
担当課：086-955-2650（直通）